

令和4年度

# F D 活 動 報 告 書

駒澤大学F D推進委員会

## 目 次

1. 委員会	1
(1) FD推進委員会	
(2) FD推進委員会小委員会	
2. 研修会	6
3. 学生が選ぶベスト・ティーチング賞	8
(1) 令和4年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞	
(2) 学生FDスタッフ	
4. 公開授業	16
5. 学生による授業アンケート	24
(1) 「学生による授業アンケート」の概要	
(2) 授業アンケート質問項目	
(3) 項目別平均値	
(4) 受講生の講義への取り組み	
(5) 授業についての評価	
6. FD NEWSLETTERの発行	63
7. 総評	64

### 【付録資料】

- 駒澤大学FD推進委員会規程
- 駒澤大学FD憲章
- 令和4年度 駒澤大学FD推進委員会委員名簿
- 令和4年度 駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿

## 1. 委員会

### (1) FD推進委員会

#### ○第1回

日 程 令和4年4月18日(月) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

- (1) 令和4年度新規採用教員オリエンテーションについて
- (2) 令和3年度FD推進委員会小委員会活動報告について

2. 審議事項

- (1) 令和4年度FD活動計画について
- (2) 令和4年度FD推進委員会活動年間日程について

3. その他

#### ○第2回

日 程 令和4年5月27日(金) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 審議事項

- (1) 委員会再編に伴うFD推進委員会規程廃止及び  
FD委員会規程と学部FD分科会規程の制定について

2. その他

#### ○第3回

日 程 令和4年6月23日(木) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

2. 審議事項

- (1) 委員会再編に伴うFD推進委員会規程廃止及び  
FD委員会規程と学部FD分科会規程の制定について (継続審議)

3. その他

#### ○第4回

日 程 令和4年7月20日(水) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

- (1) 令和4年度第1回FD研修会の開催について
- (2) 令和4(2022)年度以降の私立大学等経常費補助金事業に向けた  
取り組みについて

2. 審議事項

- (1) ピア・サポートによる学修支援及び授業支援体制の拡充について

3. その他

○第5回

日 程 令和4年11月1日(火) オンライン会議 (Google Meet)

- 議 題
1. 報告事項
    - (1) 第3回・第4回FD推進委員会小委員会の報告事項について
    - (2) 公開授業について
    - (3) 第3回FD研修会について
    - (4) 令和4年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
  2. 審議事項
  3. その他

○第6回

日 程 令和4年12月20日(火) Garoonによる審議

- 議 題
1. 報告事項
  2. 審議事項
    - (1) 授業アンケートの追加分析について

○第7回

日 程 令和5年1月27日(金) オンライン会議 (Google Meet)

- 議 題
1. 報告事項
    - (1) FD推進委員会小委員会の報告事項について
    - (2) 2022年度「学生による授業アンケート(後期)」について
    - (3) 学生による授業アンケートの分析について
    - (4) 令和3年度卒業時アンケートの分析について
  2. 審議事項
    - (1) 令和4年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
    - (2) FD推進委員会の活動に関するPDCAについて
    - (3) 授業実践方法の共有に関する新たな取り組みについて
  3. その他

○第8回

日 程 令和5年3月13日(月) オンライン会議 (Google Meet)

- 議 題
1. 報告事項
    - (1) FD推進委員会小委員会の報告事項について
    - (2) 令和5年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
  2. 審議事項
    - (1) 令和4年度『FD活動報告書』の発行について
  3. その他

## (2) FD推進委員会小委員会

### ○第1回

日 程 令和4年5月9日(月) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

(1) 学生FDスタッフについて

2. 審議事項

(1) ピア・サポートによる授業支援体制の拡充について

3. その他

### ○第2回

日 程 令和4年6月8日(水) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

(1) 各活動グループより進捗状況報告

2. 審議事項

(1) ピア・サポートによる学修支援及び授業支援体制の拡充について

(継続審議)

(2) 第1回FD研修会について

(3) FD NEWSLETTER のデザイン変更について

(4) 学生FDスタッフへのオープンバッジ発行について

3. その他

### ○第3回

日 程 令和4年7月22日(金) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

(1) 2022年度「学生による授業アンケート(前期)」の実施結果について

(2) 各活動グループより進捗状況報告(各報告担当者から報告)

2. 審議事項

(1) 第2回FD研修会について

(2) 委員会再編に伴う駒澤大学FD推進委員会小委員会に関する内規の廃止  
及び関連諸内規の改正について

(3) 令和4年度公開授業の実施について

3. その他

○第4回

日 程 令和4年10月7日（金） オンライン会議（Google Meet）

議 題 1. 報告事項

- (1) 各活動グループより進捗状況報告（各報告担当者から報告）
- (2) 2022年度「学生による授業アンケート（後期）」の実施について
- (3) 令和4年度公開授業について
- (4) 『FD NEWSLETTER』第70号について
- (5) 令和4年度各種入学者選抜合格者への入学前教育の実施について

2. 審議事項

- (1) 令和4年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
- (2) 第3回FD研修会について

3. その他

○第5回

日 程 令和4年12月14日（水） オンライン会議（Google Meet）

議 題 1. 報告事項

- (1) 各活動グループより進捗状況報告（各報告担当者から報告）
- (2) 2022年度「学生による授業アンケート（後期）」について
- (3) 令和4年度「公開授業」の実施について
- (4) 『FD NEWSLETTER』第71号の発行について

2. 審議事項

- (1) 令和4年度第4回FD研修会について
- (2) 授業アンケートの分析について
- (3) 授業実践方法の共有に関する新たな取り組みについて
- (4) 学生FDスタッフの自主企画案について
- (5) 令和4年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について

3. その他

- (1) 1. FD 活用のための大学改革の戦略、教育方法、学修支援に関する講演・事例発表オンデマンド配信について

○第6回

日 程 令和5年1月19日(木) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

- (1) 各活動グループより進捗状況報告について
- (2) 2022年度「学生による授業アンケート(後期)」について
- (3) 令和4年度公開授業について
- (4) 令和3年度卒業時アンケートの分析について

2. 審議事項

- (1) FD推進委員会の活動に関するPDCAについて

3. その他

○第7回

日 程 令和5年2月22日(水) オンライン会議 (Google Meet)

議 題 1. 報告事項

- (1) 各活動グループより報告
- (2) 『FD NEWSLETTER』第72号について
- (3) 令和5年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
- (4) 専任教員対象FD活動に関するアンケートについて

2. 審議事項

- (1) 令和4年度FD推進委員会の活動報告について

3. その他

## 2. 研修会

### (1) FD研修会

全教職員を対象としたFD研修会を開催した。

#### ○第1回

日 時 : 令和4年7月29日(金) 14:40~16:10  
場 所 : Google Meet を用いたオンライン研修会  
テ ー マ : オンライン授業の負担と効率化 (パネルディスカッション形式)  
講 師 : 久保 尚也 准教授 (文学部)  
          芝崎 厚士 教授 (GMS 学部)  
          中村 一成 准教授 (経営学部)  
          矢野 浩一 教授 (経済学部)  
参 加 者 : 教員 : 55 名 職員 : 17 名  
後 援 : 世田谷プラットフォーム

#### ○第2回

日 時 : 令和4年10月6日(木) 16:30~18:00  
場 所 : Google Meet を用いたオンライン研修会  
テ ー マ : オンライン授業を巡るコロナ禍からポストコロナ時代への  
          接合点を探して  
参 加 者 : 教員 : 52 名 職員 : 9 名  
後 援 : 世田谷プラットフォーム

#### ○第3回

日 時 : 令和4年10月28日(金)・11月2日(水) 16:30~  
場 所 : Google Meet を用いたオンライン研修会  
テ ー マ : 次期授業支援システム WebClass の操作説明会  
参 加 者 : 教員 : 54 名 職員 : 7 名 (第1回)  
          教員 : 57 名 職員 : 3 名 (第2回)



○第4回

- 日 時 : 令和5年2月17日(金) 15:00~16:30  
場 所 : Google Meet を用いたオンライン研修会  
テ ー マ : 令和4年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者による  
実践事例紹介  
講 師 : 川村 稔 先生(経済学部)  
宮尾 亮甫 先生(法学部)  
矢田 陽一 先生(法学部)  
金澤 誠 先生(法学部)  
嶋井 雅芳 先生(総合教育研究部)  
畠山 寛 先生(総合教育研究部)  
参 加 者 : 教員:92名 職員:16名 大学院生1名  
後 援 : 世田谷プラットフォーム

(2) 令和4年度新規採用教員オリエンテーション

新規採用専任教員・非常勤教員を対象にしたオリエンテーションを開催した。

- 日 時 : 令和4年4月1日(金) 13:50~17:00  
出席者数 : 63名(対象者:108名)  
次 第 : 学長挨拶  
教務部長挨拶  
大学案内(教務部・総合情報センター・図書館)

### 3. 学生が選ぶベスト・ティーチング賞

#### (1) 令和4年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞

令和4年11月12日（土）から12月2日（金）に投票が行われ、厳正なる選考の結果、以下の教員が選出された。また、本年度はベスト・ティーチング賞に加え、各学部等で得票数の多い上位科目（ベスト・ティーチング賞受賞科目を除く）を「プラスワン賞」として令和5年2月17日（金）に表彰した。

#### 【学生が選ぶベスト・ティーチング賞】

##### ・専門教育科目

「キャリア・デザインa」	川村 稔（経済学部非常勤講師）
「行政法A」	宮尾 亮甫（法学部非常勤講師）
「刑法総論」	矢田 陽一（法学部非常勤講師）

##### ・全学共通科目

「法学の基礎」	金澤 誠（法学部非常勤講師）
「特別活動論・総合的な学習の時間の指導法」	嶋井 雅芳（総合教育研究部非常勤講師）
「ドイツ語 I A a」	畠山 寛（総合教育研究部教授）

#### 【プラスワン賞】

「宗教学研究」	村上 晶（仏教学部講師）
「心理学の基礎」	加藤 博己（文学部非常勤講師）
「マクロ経済学」	井上 智洋（経済学部准教授）
「裁判法」	岡田 好弘（法学部准教授）
「知的財産権法」	小嶋 崇弘（法学部准教授）
「現代政治理論入門」	山崎 望（法学部教授）
「管理会計論」	猿山 義広（経営学部教授）
「基礎化学」	岡田 朋子（医療健康科学部准教授）
「メディア法基礎」	松前 恵環（GMS 学部講師）
「子どもと文化入門（1）」	内藤 寿子（総合教育研究部教授）

※法学部は上位同数票のため3名選出。

#### (2) 学生FDスタッフ

「学生FDスタッフ」は、学生による学生目線の教育改善を目指して、各学部生や教職員とともに、学生が選ぶベスト・ティーチング賞（BTA）などのFDに関するイベントの企画、広報、運営を行う学生組織である。令和4年度は以下の活動を行った。

○第6期からの継続スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年4月14日(木)

場 所 教務部第1会議室

内 容 新規担当教員との顔合わせ、新規メンバーの募集スケジュール

○学生FDスタッフ募集及びエントリー受付

日 時 令和4年4月18日(月)～4月22日(金)

場 所 学内ポータルサイトKONECO、学生FDスタッフ公式SNSにて

内 容 学生FDスタッフの募集を告知。活動と利点・留意点の資料の掲載。  
10名の新規メンバーが応募

○第7期生募集に向けた活動体験会

日 時 令和4年4月19日(火)・4月20日(水)

場 所 3号館3-201教場および3-202教場

内 容 学生FDスタッフの活動内容の紹介と、実施のミーティング体験を実施。  
計5名が参加

○学生FDスタッフ選考面接

日 時 令和4年4月25日(月)～4月27日(水)

場 所 教務部第1会議室および第2会議室

備 考 学生1名に対し、担当教員・担当職員2名以上での面接を行った。

○第6期からの継続スタッフ活動ミーティング(1)

日 時 令和4年4月27日(水)

場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース

内 容 新規メンバーの応募状況の共有、追加募集について、第7期生今後のスケジュールについて

○第6期からの継続スタッフ活動ミーティング(2)

日 時 令和4年5月12日(木)

場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース

内 容 新規メンバー顔合わせ会について、第7期生今後のスケジュールについて、  
定例会の実施場所・実施時間について

○第6期からの継続スタッフ活動ミーティング（3）

日 時 令和4年5月17日（火）  
場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース  
内 容 新規メンバー顔合わせ会について、第7期生今後のスケジュールについて、  
定例会の実施時間・実施場所について

○第1回 今年度新規・継続メンバー顔合わせ

日 時 令和4年5月26日（木）12：30～12：50  
場 所 第2研究館102教場  
内 容 関係者の顔合わせと学生FDスタッフの今年の活動について

○第2回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年6月2日（木）12：30～12：50  
場 所 第2研究館102教場  
内 容 今年度の活動内容について、グループ編成について

○第3回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年6月10日（金）12：30～12：50  
場 所 3号館（種月館）205教場  
内 容 スタッフ交流のレクリエーション（自己紹介ゲーム）

○令和4年度 学生FDスタッフ委嘱状授与式

日 時 令和4年6月23日（木）12：30～12：50  
場 所 本部棟6F大会議室  
内 容 学長より委嘱状の授与

○第4回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年6月24日（金）12：30～12：50  
場 所 3号館（種月館）403教場  
内 容 前期授業アンケートのポスター案について

○第5回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年7月8日（金）12：30～12：50  
場 所 総合情報センター学習室PAO内「プレゼンテーションエリア」  
内 容 各グループの前期授業アンケートポスター案について

○第6回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日時 令和4年7月22日(金) 12:30~12:50

場所 総合情報センター学習室PAO内「プレゼンテーションエリア」

内容 今後の活動の進め方について、グループ編成について

○第7回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日時 令和4年9月22日(木) 12:30~12:50

場所 3号館(種月館)3-402 教場

内容 グループごとの企画について進捗発表

○第8回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日時 令和4年9月29日(木) 12:30~12:50

場所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース

内容 BTAの広報方法について、投票フォームの変更について

○第7期生スタッフ 後期執行部ミーティング

日時 令和4年10月6日(木) 12:30~12:50

場所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース

内容 後期の活動方針について、ミーティングについて、企画の進め方について

○第9回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日時 令和4年10月13日(木) 12:30~12:50

場所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース

内容 BTAの状況(小委員会への提案内容の確認、新投票フォームの動作確認)

○第7期生スタッフ グループ別打ち合わせ(グループC)

日時 令和4年10月19日(水) 13:00~14:00

場所 Google Meetによるオンラインミーティング

内容 グループ別企画(知名度向上企画)の今後の進め方について

○第7期生スタッフ グループ別打ち合わせ(グループB)

日時 令和4年10月19日(水) 16:30~17:30

場所 Google Meetによるオンラインミーティング

内容 グループ別企画(履修前企画)の今後の進め方について

○第7期生スタッフ グループ別打ち合わせ（グループA）

日 時 令和4年10月21日（金）12：15～12：50  
場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース  
内 容 BTAの広報について、BTA冊子の編集について

○第10回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年10月27日（木）12：30～12：55  
場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース  
内 容 BTAの学内広報開始時期について、広報方法について

○第7期生スタッフ シラバスに関するインタビュー（GMS学部星野真先生）

日 時 令和4年11月9日（水）15：00～15：30  
場 所 Google Meetによるオンライン  
内 容 グループBの履修前企画のプレインタビューとして、GMS学部星野先生へのインタビューを行った。

○第11回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年11月10日（木）12：30～12：55  
場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース  
内 容 BTA学内広報について、履修企画のシラバスに関するインタビューについて、学内マップ企画の教場調査について

○第7期生スタッフ シラバスに関するインタビュー（文学部久保尚也先生）

日 時 令和4年11月10日（木）15：00～15：30  
場 所 久保先生研究室  
内 容 グループBの履修前企画のプレインタビューとして、文学部久保先生へのインタビューを行った。

○第12回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年11月17日（木）12：30～12：55  
場 所 図書館3階 グループ学習室5  
内 容 BTAのSNSでの広報について、学内マップ企画の学内施設に関する意見聴取

○第13回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年11月25日（金）12：30～12：55  
場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース  
内 容 BTA広報方法について（3号館へのブース設置について）

○BTA 広報作業（ポスター・学食ポップの設置）

日 時 令和4年11月11日（金）

場 所 1号館・7号館・8号館・学生食堂周辺

備 考 掲示版へのポスター貼付・学食へのポップの設置を行った。

○BTA 広報作業(3号館へのブース設置とチラシの配布)

日 時 令和4年11月28日（月）～12月2日（金）

場 所 3号館1階 セブンイレブン・学生食堂周辺

備 考 総務部とご相談の上ブースを設置し、チラシを配布した。

○第7期生スタッフ グループ別打ち合わせ（グループB）

日 時 令和4年12月6日（火）15:00～16:30

場 所 Google Meet によるオンライン会議

内 容 新規企画（履修前企画）の打ち合わせと企画書作成

○第14回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年12月1日（木）12:30～12:55

場 所 教務部前アクティブ・ラーニングスペース

内 容 BTA 集計後の流れについて

○第15回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年12月8日（木）12:30～12:55

場 所 PAO 内プレゼンテーションルーム

内 容 BTA 集計結果について、今後のスケジュールについて

○第16回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年12月15日（木）12:30～12:55

場 所 図書館3階 グループ学習室5

内 容 BTA・新規企画の小委員会承認について

○第7期生スタッフ グループ別打ち合わせ（グループA）

日 時 令和4年12月16日（金）12:20～12:55

場 所 教務部内会議室

内 容 BTA 冊子について、BTA 受賞教員への副賞について

○第17回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和4年12月22日(木) 12:30~12:55  
場 所 PAO内プレゼンテーションルーム  
内 容 BTA冊子の表紙・BTAトロフィーの作成方法について、年明けのイベントについて確認

○第18回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和5年1月12日(木) 12:30~12:55  
場 所 図書館3階 グループ学習室5  
内 容 トロフィーのデザインについて、BTA受賞教員へのインタビュー内容について、事前勉強会について

○第19回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和5年1月26日(木) 12:30~13:30  
場 所 Google Meetによるオンラインミーティング  
内 容 トロフィーのデザインについて、BTA受賞教員へのインタビュー内容について、サークルフェスティバル説明会について

○第20回 第7期生スタッフ活動ミーティング

日 時 令和5年2月2日(木) 12:00~13:00  
場 所 Google Meetによるオンラインミーティング  
内 容 受賞者トロフィーデザイン決定、受賞者教員へのインタビュー内容決定、サークルフェスティバルへの出展について、学長との意見交換会・BTA受賞教員へのインタビュー事前勉強会に向けた課題について

○第7期生スタッフ グループ別打ち合わせ(グループB)

日 時 令和5年2月7日(火) 15:00~16:00  
場 所 Google Meetによるオンラインミーティング  
内 容 履修ガイドの編集方法について

○学長との意見交換会・BTA受賞教員へのインタビューに向けた勉強会

日 時 令和5年2月8日(水) 11:00~13:00  
場 所 Google Meetによるオンラインミーティング  
内 容 今年度のBTA結果の振り返り、学長との意見交換会に向けた意見出し



- 「学長との意見交換会」
  - 日 時 令和5年2月15日（水）15：00～16：30
  - 場 所 本部棟 8F 会議室
  - テーマ 学生が選ぶベスト・ティーチング賞の集計結果を元に、効果的な教育を考える
  
- 令和4年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者インタビュー
  - 日 時 令和5年2月17日（金）11：30～12：30
  - 場 所 本部棟 6F 会議室
  - 対象者 ベスト・ティーチング賞 受賞者6名（各30分程度）
  
- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞式
  - 日 時 令和5年2月17日（金）14：00～14：30
  - 場 所 本部棟 6F 会議室
  - 対象者 ベスト・ティーチング賞 受賞者6名
  
- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」パンフレット作成、投票内容のフィードバック
  - 日 時 令和5年2月末～3月
  - 概 要 パンフレットには、学生FDスタッフの活動や投票コメントの一部を掲載した。  
また、投票のあった教員には、投票内容を確認できるURLを連絡した。

## 4. 公開授業

公開授業の目的は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

本年度の公開授業は、各学部等のFD推進部会の協力により、「令和4年度公開授業一覧」(表1)のとおり実施した。また、「令和4年度公開授業実施結果の報告」(表2)のとおり実施結果について報告がなされた。

(表1) 令和4年度 公開授業一覧

学部	担当教員	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	大澤 邦由	11/30 (水)	4	8-468	仏教漢文入門
	村上 晶	11/18 (金)	3	8-466	宗教史
文学部	瀬戸 寿一	11/10 (木)	1	3-212※	社会地理学 B
経済学部	河田 陽向	11/24 (木)	2	8-255※	ミクロ経済学
	栗城 綾子	11/8 (火)	3	オンライン	財務会計論 b
法学部	福田 誠治	11/7 (月)	1	1-301	債権各論
	内海 麻利	11/18 (金)	1	2 研-203	都市・まちづくり論
経営学部	田中 智徳	11/16 (水)	4	8-150※	会計学 B
	武谷 慧悟	11/24 (木)	5	3-307	サービス経営論 B
医療健康科学部	名古 安伸	11/10 (木)	2	3-312※	放射線機器工学概論
GMS学部	ウルフ・ジェームズ	11/7 (月)	2	1-405	Advanced English II
総合教育研究部	小池 孝範	11/15 (火)	4	7-404※	教育制度・環境論
	末次 美樹	11/16 (水)	2	2 研-101	生涯スポーツ実習

※オンライン併用

(表2) 令和4年度「公開授業実施結果」報告

学部	仏教学部	実施教員	大澤 邦由
1. 実施日・曜日・時限	11月30日(水)4時限	教場	8-468
2. 実施科目名	仏教漢文入門	報告責任者	程 正
3. 履修登録者数	44 人		
4. 公開授業参観者数	5 人		
5. 授業実施状況 大澤先生がご担当の仏教漢文入門は仏教学部1年生必修科目で、5クラスのうちの1つです。今回の公開授業は、予習を徹底させた上、最初の30分で共通テキスト(『雑宝蔵経』鬼子母神章)を輪読し、残りの60分を30分ずつ均等にわけて、2つの学生グループ発表にそれぞれ当て、実施されました。グループ発表のテキストには、『禅苑蒙求』の「陳操問禅」と「香巖撃竹」の2編をそれぞれ用いました。			
6. 授業の良かった点 1、予習復習を徹底させていること。 2、復習がしやすいように、それに資する工具書や資料などを提示していること。 3、共通テキストのほか、グループ発表を導入し、学習効果の向上に工夫していること。 4、学生の緊張感が途切れないようランダムに質問を振り、積極的に授業にくみするよう促していること。 5、学生一人一人が自分で学ぶ姿勢が身につくよう工夫していること。 6、グループ編成に際して、一部の学生に負担過重とならないよう、細心の注意を払っていること。(これは担当教員が日常日頃、履修者全員の状況把握に努めていることを意味していると考えられる。)			
7. こうすればさらに良くなると思った点 時間の制約がある中、グループ発表の内容にある誤りについては、漏らさずに資料作成者に伝えていくかが課題となります。			

学部	仏教学部	実施教員	村上 晶
1. 実施日・曜日・時限	11月18日(金)3時限	教場	8-466
2. 実施科目名	宗教史	報告責任者	奥野 光賢
3. 履修登録者数	136人		
4. 公開授業参観者数	2人		
5. 授業実施状況 レジュメ(A4裏表)を授業最初に配布 授業最初に振り返りクイズ(3問、○×式、手を挙げさせる。3分ほど)。前回のリアクションペーパーの抜粋をスライドで映して紹介(15分ほど)。授業内でC-Learningアンケート(4択)をとり、結果をスライドで見せる。スライドを使いながら講義。 最後10分でリアクションペーパーを提出させる。教室出席者は遅刻者含め90人ほど。私語はない。			
6. 授業の良かった点 問題提起(問いかけ)によって進行する(受講者の関心を喚起する)。自然な疑問設定。授業内アンケート結果を映して見せることで学生の授業参加意識を高めている。 次回が気になる終わり方をする(今回の授業内容を次回で相対化することを予告する)。授業最初の前回リアクションペーパー紹介で前回の授業を振り返った上で今回の内容につなげる。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 スライドの文字がもう少し大きいほうがよい? 黒板前のスクリーンでは映が悪くもったいない感じがした(教室後方のモニタではきれいに映る)			

学部	文学部	実施教員	瀬戸寿一
1. 実施日・曜日・時限	11月 10日(木)1 時限	教場	3-212
2. 実施科目名	社会地理学B	報告責任者	小野 映介
3. 履修登録者数	49 人		
4. 公開授業参観者数	46 人		
5. 授業実施状況			
<p>本授業は講義科目の一環として、第5回目にあたる授業回として実施した。社会地理学Bの全体を通底するテーマは、主に都市社会で今日起こっている社会現象・社会課題とインターネット地理情報との関係性に着目しており、今回と次回にかけて社会や空間の流動性(フロー)を取り上げ、特に今回は「情報メディアと地理的視覚化」を題材として取り上げた。授業自体は、対面での実施を原則としつつオンライン受講を希望する学生がいることから、教材の電子媒体を用意すると共に教場での参加学生向けに要点をまとめた紙資料も配布している。なおパワーポイントの説明資料には、重要事項を穴埋め方式で記入させることで授業の要点を掴む配慮を行っているほか、代表例となるようなトピックスに関しては適宜2～3分程度の動画を講義中に上映し、説明内容のイメージを持ってもらえるようにした。加えて、アンケート機能を使って授業内容に関わるアンケート調査を講義前～講義中にかけて実施し、34名からの回答を得た。</p>			
6. 授業の良かった点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来は、現地にいくことでしか得られなかった地理的体験が、20世紀以降のメディアの発達によって、視覚的に他所から行えるようになった。特にインターネットやSNSの発達は、それをより容易にした。その一方で、フェイクニュースによる誤った地理的情報の氾濫も危惧される。そうした状況において、本講義は有意義なものであった。・かなり濃密な内容であり、講義に関心のある学生にとっては満足感の得られる講義である。</li> <li>・ SNS等についての最新の話題を提供し、学生が興味を引くよう工夫していた。</li> <li>・ 動画などを合間に入れ、学生の集中力を持続させるよう工夫されていた。</li> </ul>			
7. こうすればさらに良くなると思った点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な研究者の成果や主張を紹介していた点が参考になった。仮に誰かの主張だとしても割愛する場が多いが、著書や論文名、著者などを挙げると、その後学生が自ら学ぶ道を開いてあげることになる。</li> </ul>			

学部	経済学部	実施教員	河田陽向
1. 実施日・曜日・時限	11月 24日(木)2時限	教場	8-255(オンデマンド型)
2. 実施科目名	ミクロ経済学	報告責任者	山田 雅俊
3. 履修登録者数	265 人		
4. 公開授業参観者数	不明		
5. 授業実施状況			
<p>公開授業はオンライン形式によるオンデマンド方式で行われた。シラバス上の第9回にあたる今回の講義のテーマは「安定な結婚を見つける方法: マッチング理論入門」であった。前回までの講義において、価格を使った資源配分の問題、市場を使った資源配分の問題を議論してきたが、結婚や大学入試などの価格・金銭を利用できないが優れた資源配分を実現する方法を考えることが今回の講義の狙いである。内容は、「1. 大学入試と結婚の安定性」「2. DAアルゴリズム」「3. 現実社会での重要性: 研修医マッチングの例」の3部構成である。1と2では、婚活パーティやゼミ選考の仮設例により、片側選考の問題・両側選考の問題、一対一マッチング、多対一マッチング、戦略的負担、情報の非対称性、駆け落ち(block)、安定性(stability)、安定マッチング、DAアルゴリズム(受入保留方式)、仮受け入れ、といったマッチング理論の基本を理解するための概念や定理を解説している。この解説の後、DAアルゴリズムを用いて安定マッチングを作る練習問題が出題され、履修者は動画を止めて自分で問題を解くことを要求される。3では、DAアルゴリズムの多対一マッチングの現実例として、先行研究に基づいてアメリカとイギリスにおける研修医と病院のマッチングを取り上げ、現場の試行錯誤によって生じる制度と理論が一致していること、および理論を知ることの意義を議論している。最後に演習問題が出題され、後日、演習問題の解説が別ファイルで配布される。演習問題は毎回の講義終了時にその回の内容に即して出題されている。</p>			
6. 授業の良かった点			
<p>事例と平易な言葉遣いによる丁寧な説明により、初学者でも理解しやすい解説であると思われる。色ペンツールを使って、映し出される画面に書き込みながら解説を加える方式は音声による説明に対する理解を深めることに効果的であると感じた。重要な用語は太字にしてあり、1ページ(=1スライド)に表示されている文字数は適切であり、閲覧しやすいレイアウトであった。動画配信ではあるが、動画を止めて自分で考えること、手を動かすことを履修者に要求する箇所が何回もあり、往々にして飽きや疲労を感じるオンライン形式の講義に対して退屈させない工夫がなされている。講義終了時に出題される演習問題も含めて、こうした工夫は双方向性を担保している。総じて、わかりやすさとミクロ経済学を学ぶ楽しさを伝えることに心血を注いだ内容と授業方法であると言える。</p>			
7. こうすればさらに良くなると思った点			
<p>講義のスタイルや方法は、研究者毎にあつてしかるべきであり、実際に千差万別である。本講義の改善点というよりも、評価者の講義スタイルとの違いを挙げるというスタンスで記述する。本講義は説明が平易であるが故に、重要点をもう少し強調するようなしゃべり方をする(抑揚を付ける)ことも可能であると思われる。また、今回は3部構成であったが、各部の冒頭に扉ページを挿入することによって、履修者が頭を切り替えることを促すことも可能であると思われる。最後に、教員がカメラをオンにして顔出しをすることによって、安心して講義を聴くことができるようになる学生もいると聞いたことがある。以上のように、些末なことばかりが他の講義スタイルとの違いとして挙げられることは、本公開授業の完成度が高いものであることを示していると言える。</p>			

令和4年度FD活動報告書

学部	経済学部	実施教員	栗城 綾子
1. 実施日・曜日・時限	11月 8日 (火) 3時限	教場	オンライン
2. 実施科目名	財務会計論b	報告責任者	鄭 章淵
3. 履修登録者数	202人		
4. 公開授業参観者数	不明		
5. 授業実施状況 授業形態はオンラインオンデマンド形式で実施された。講義テーマはテキスト（小栗崇資著『コンパクト財務会計——クイズでつける読む力——』2016年）の「第13章 負債会計の新たな変化」で、内容は「1.負債会計の変化とは何か」と「2.退職給付会計」についての解説であった。教材の録画はパワーポイントで作成した資料に音声をつけたMP4ファイル形式のもので、55分ほどの録画時間のうち最初の6分間は前回小テストの解説が行われ、残り49分間に当日の授業が収録されていた。前回小テストの内容はリース会計に関する○×式の設問と計算問題の設問の解答を解説したものである。続く授業の内容は、時価評価を適用する国際会計基準への変更（会計ビッグバン）に伴う負債会計の変化に関するものであった。具体的には、まず負債会計の国際会計基準への変化を説明したうえで、次に退職給付会計について、退職給付金制度、退職給付方法、財源の積立、企業年金制度（確定給付型制度と確定拠出型制度）、退職給付の会計上の性格、退職給付会計＝退職給付の会計処理を「退職給付に係る基準」導入（2000年）前後期に分け、設例（計算事例）を設けるなどして詳細な説明が加えられていた。			
6. 授業の良かった点 この科目にとって、科目の性格上テキストの内容を忠実に説明するうえにおいても、また受講生が難解な内容になりがちな授業を繰り返し視聴できる点においても、オンデマンドの授業形式はふさわしい授業形態のように思われた。録画自体に対しては、画面も見やすく音声も聞き取りやすく、技術的な問題は特段感じられなかった。また、授業に関して授業内容をアップするだけではなく、一部空欄になっている授業ノート（授業内容のレジュメ）を事前に配布したり、毎回C-learningを通じて小テストを実施するとともに解答についても次回授業の冒頭で解説の時間を設けるなど、受講生に授業内容の理解を深めてもらうのに効果的な方法が駆使されていた。さらに、授業に関する質問についてはC-learningを通じて対応しており、授業の双方向性が確保されているオンデマンド授業であると評価できよう。ひと言でこの科目を評価するならば、非常に丁寧かつ気配りの利いた授業内容であると言えるだろう。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 あえて注文を付けるならば、小テストの設問のうち計算問題の正答率が意外と低かった（60.5%）ので、その正答率を上げるための工夫が必要なのではないかという点と、パワーポイントのスライドのレイアウトがやや単調な印象を受けたので、視聴者にビジュアル的にアピールできる工夫があれば、より完成度の高い授業内容になるのではないかと思われた。			

学部	法学部	実施教員	内海 麻利
1. 実施日・曜日・時限	11月18日(金) 1時限	教場	2研-203
2. 実施科目名	都市・まちづくり論	報告責任者	田中 優企
3. 履修登録者数	137人		
4. 公開授業参観者数	2人		
5. 授業実施状況 ・通年の選択必修科目。対面のみ形式で実施された。 ・「中心市街地の活性化」について、YeStudy上で事前に配布されたスライド資料をモニターに映しながら、これに解説を加えていく形で授業が展開された。 ・授業の冒頭と最後に、当日のコードを伝え、C-learning上で入力させる形で出席確認が行われた。 ・1限の授業に関わらず、出席率(約80%)が高いよううかがわれた。			
6. 授業の良かった点 <授業内容について> ・解説は、担当教員が実際に参画した政策や経験も織り交ぜながら、高度な内容を学生に理解しやすい語り口で行われた。 ・適度な間をはさみながら、ノートテイクしやすいスピードで進められていた。 <スライド資料について> ・スライド資料は、(当該科目の特性によるものと思われるが)写真や図表、統計が多数組み合わせられた詳細なもので、また見やすくわかりやすいものとなっており、周到に準備されている様子がうかがわれた。 <その他の授業の工夫について> ・授業の冒頭で、前回の授業内容を簡潔に振り返り、今回の授業テーマの当該科目全体における位置付けを確認すると共に、授業の途中や最後に、今回の授業内容の振り返りも行われており、学生の理解を促す工夫も見られた。 ・当日は用いられなかったが、他の回では映像資料も用いているとのことであった。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 全体としては特にないが、あえて挙げるとすれば次の点であろう。 ・学生の興味・関心を引くような具体的事例が豊富に紹介されていたが、中には、学生に前提知識が欠けていたり乏しかったりする情報(他地域の出身者には必ずしも馴染みはない、都市・地域や「近江商人」といった用語など)がいくつか含まれていた。当該科目の特性上、様々な都市・地域や事柄を採り上げざるを得ず、逐一というのは無理な要求であるが、可能な限り、これらの補足説明も付け加えた方が、より一層、学生の理解を促すことができるのではないかと。 ・完成されたスライド資料であるが故のことと思われるが、ノートテイクの手が止まっていたり、「内職」したりする学生が若干散見されたため、何らかの工夫が必要であろう。			

学部	法学部	実施教員	福田 誠治
1. 実施日・曜日・時限	11月7日(月)1時限	教場	1-301
2. 実施科目名	債権各論	報告責任者	梅川 葉菜
3. 履修登録者数	202人		
4. 公開授業参観者数	3人		
5. 授業実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年の選択必修科目。対面のみ形式で実施された。</li> <li>・「賠償方法やその範囲、基本的な発想」、「具体的損害項目の例」、「物の金銭評価」、「間接損害:直接の被害者以外の者に損害が生じる場合」について、板書、六法全書、そしてYeStudy上で配布された講義資料を参考に授業が展開された。</li> <li>・講義資料には適宜、穴埋め箇所があり、授業内で適切に該当箇所の解答が示されていた。</li> <li>・板書は大枠が授業開始前に既に書かれており、授業中に適宜、加筆され、また赤色や黄色の色付きチョークで強調された。図や表も適宜、示された。</li> </ul>			
6. 授業の良かった点			
<p>&lt;授業内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を中心に授業が展開されるが、学生には講義用資料が提供されているようであった。しかし講義用資料がなくても、授業内の解説だけで十分理解できる内容であった。</li> <li>・「裁判所の相場」「被害者が1円たりとも得してはならない」等分かりやすい表現で事案の本質を突くところは秀逸であった。</li> <li>・学説の対立には深入りしないが、内容的には高度な充実したものであった。</li> </ul> <p>&lt;板書について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始前に本日授業の基本事項が板書されているが、それは全て授業時間内に筆写することができる分量であった。</li> <li>・事前板書に加え、授業進行に合わせた板書も随時あったが、いずれも事前によく準備されたものであり、工夫の跡が感じられた。</li> <li>・授業開始の10分以上前から既に黒板全体に板書が大変丁寧に書き込まれており、何人もの受講生が授業開始前から熱心にノートをとっていた。前に授業のない1限の利点を生かし、授業時間を最大限活用していた。</li> <li>・1-301という広い教場であったが、一番後ろの座席からでも問題なく板書が視認できる、わかりやすく大きな文字であった。</li> </ul> <p>&lt;講義資料について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・YeStudyで講義資料が配布されているため、受講生は講義に臨む前に内容をしっかりと確認・学習することができているようであった。</li> <li>・講義資料の穴埋め形式もあり、受講生が主体的に授業に臨んでいた。&lt;その他の授業の工夫について&gt;</li> <li>・身振り手振りがあり、時折、板書が挟まれるため、飽きさせることなく授業が展開されていた。</li> <li>・非常に専門性の高い授業内容にもかかわらず、適宜、具体例が示され、また受講生に配慮されたテンポで授業が進む(話す速度の調整、明瞭な話し方、重要な箇所の強調、繰り返し、板書の強調、六法等を開く際や板書をノートに取る際の時間の確保など)ため、内容がしっかりと頭に入った。</li> <li>・難しい事柄については、試験で間違いやすいという形で受講生に注意を促しつつ、繰り返し丁寧に説明しており、受講生も熱心にノートをとっていた。</li> <li>・月曜1限という時間帯にもかかわらず、遅刻の受講生も寝ている受講生も少なかった。</li> </ul>			
7. こうすればさらに良くなると思った点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> <li>・良くなると思う点はないものの、敢えて言及するのならば、教員の負担が大きい印象を受けたことが挙げられる、例えば、コロナ禍という状況もありやむを得ないが、マスクを若用しながら90分もの間、受講生に配慮してゆっくりと抑揚をつけ、しっかりと声で話し続けるだけでも大変であるが、さらには身振り手振りに加えて板書も適宜行っており、受講生にとっては授業内容の理解に役立っている一方で、教員の身体的負担が大きいようにも思えた。また、授業開始の10分以上前から既に黒板全体に板書が大変丁寧に書かれており、こちらも受講生にとっては授業内容の理解の大きな助けとなっているが、他方で、教員が授業前から相当の時間をかけていることが推察され、教員の負担が大きいようにも思えた。</li> </ul>			

令和4年度FD活動報告書

学部	経営学部	実施教員	田中 智徳
1. 実施日・曜日・時限	11月16日(水)4時限	教場	8-150
2. 実施科目名	会計学B	報告責任者	河合 由佳理
3. 履修登録者数	227人		
4. 公開授業参観者数	2人		
5. 授業実施状況			
【授業の内容】 指定されたテキスト第11章「コーポレート・ガバナンスと会計監査」について授業が行われた。			
【授業の進め方】 前回の確認テストのフィードバック(10分) テキストの解説(部分的にテキストを確認し、スライドを使って補足説明)(75分) 出席コードの提示と確認テストの実施(5分、宿題)			
【授業の形態】 対面及びGoogle Meetによる同時配信(対面参加者:約15名) 確認テスト提出締め切り後に授業の配布資料のデータや録画を配信			
6. 授業の良かった点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・声(マイクの音量)がはっきりとしていて聞き取りやすい(対面参加時)</li> <li>・話す速度も適切</li> <li>・教場は静かで落ち着いた学習環境を確保している</li> <li>・スライドは見やすく、アニメーションやイラストをかなり工夫されている(緻密な準備をされている)</li> <li>・関連する書籍を紹介して発展的な学習を促している</li> <li>・事例紹介が多く、学生がテーマに興味を持つような工夫がされている</li> <li>・確認テストの実施、補足資料の配布やオンデマンド動画の配信についても学習効果が高まるように配慮されている</li> </ul>			
7. こうすればさらに良くなると思った点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部スライドの文字が小さかったので、部分的に拡大する等、見せ方を工夫すると良いかもしれない(教場によって見えにくい可能性)</li> <li>・メモを取ったり、テキストに線を引いたりする学生が少数なので、メモしてほしい部分を強調する等、学生に働きかける工夫を考えたほうが良いかもしれない(ただし、オンライン参加者が多いので実態の把握は難しいかもしれない)</li> </ul>			

学部	経営学部	実施教員	武谷 慧悟
1. 実施日・曜日・時限	11月24日(木)5時限	教場	3-307
2. 実施科目名	サービス経営論B	報告責任者	飯田 哲夫
3. 履修登録者数	102人		
4. 公開授業参観者数	4人		
5. 授業実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容は、「製造業のサービス化」についてであった。</li> <li>・授業には約65名の学生が出席していた。</li> <li>・複数の事例を紹介しつつ、分かりやすく説明がなされた。</li> <li>・講義形式は、スライドや動画を用いた対面形式である。</li> <li>・スライドは見やすく、授業の進行スピードも適切である。</li> <li>・授業中にGoogleフォームを用いて学生からの質問を受け付け、質問に対応している。</li> <li>・授業の途中で数分間の休憩を挟んでいる。</li> </ul>			
6. 授業の良かった点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の授業への関心が増すような興味深い事例を取り上げている。</li> <li>・イラストやQRコードを利用する等の工夫がスライドに施されていて、内容の理解を助けている。</li> <li>・小話を適宜挟むことで、学生の授業への関心を上手く引き出している。</li> </ul>			
7. こうすればさらに良くなると思った点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り会の参加者から、授業で紹介した内容が少し多かったのではないかという意見があった。</li> <li>・授業実施教員の授業方法とは関係ないことであるが、振り返り会の参加者から、教場の設備について改善を求める意見があった。マイクの音が途切れることがあったということである。</li> </ul>			

学部	医療健康科学部	実施教員	名古 安伸
1. 実施日・曜日・時限	11月10日(木)2時限	教場	3-312
2. 実施科目名	放射線機器工学概論	報告責任者	吉川 宏起
3. 履修登録者数	74人		
4. 公開授業参観者数	62人		
5. 授業実施状況 1学年次生を対象とする授業で、上記のように高い出席率のもと活気に満ちた授業が行われていた。内容はKONECOに公開されているシラバスの「第11回:映像装置・画像関連用品:散乱X線除去用グリッド、周辺機器」に沿ったものであった。授業は主としてスライドを用いながらの説明と質疑応答を求めながら進めていく双方向授業形式で行われていた。また医療現場のX線撮影検査で使用されるカセットならびに内部に装着されているグリッドを供覧しながら分かりやすい説明がなされていた。			
6. 授業の良かった点 ・分かりやすいスライドや臨床現場で実際に使用されているカセットやグリッドに触れさせることで、放射線機器の使用方法や意義が伝わりやすい。 ・臨場感に溢れる分かりやすい授業で、常に学生側からの応答を求める配慮がなされていた。 ・機器の名称や検査現場で使用される専門用語が分かりやすく解説されていた。 ・覚えるべき重点項目が教科書のどこに記載されているかが、常に指摘されていた。 ・学生側に満足感や達成感を与える授業であると考えられた。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 ・出席教員が結果報告担当教員1名であった。公示や広報活動の改善が必要である。 ・近年、多くの授業で問題となっている点であるが、学生側からの質問や意見をさらに引き出す努力が必要である。 ・供覧するスライドは静止画像が主体となるが、動画の利用度を増やしていくとさらに理解度が高くなる。			

学部	GMS学部	実施教員	ウルフ・ジェームズ
1. 実施日・曜日・時限	11月7日(月)2時限	教場	1-405
2. 実施科目名	Advanced English II	報告責任者	川崎 賢一
3. 履修登録者数	6人		
4. 公開授業参観者数	1人		
5. 授業実施状況 今回は、学部の自由科目 Advanced English II を参観した。英文のテキストを用い、そのユニットの順番で授業を進めていった。授業の内容は、コアにある題材とそれに対するアプローチ(リスニング・ディスカッション・スピーキングなど)が中心になり、さらに、説明の部分をクイズ形式や簡単な試験形式にしたりして、学生に飽きさせずに授業を進めていた。全部で7つのパートからなり、それに最初の部分で前回の復讐をし、最後の部分で次回への繋がりを説明するという、重層的な構成になっている。90分の時間をフルに使い、3分の残り時間を有効に使っていた。			
6. 授業の良かった点 まず、内容がわかりやすく、学生に興味を持てるようなトピックを取り上げていた点である。内容は主に二つのテーマからなっていた。最初の14ではVertical Farmingという現代的なテーマを取り上げ、15では、Computer Termsという学部にもふさわしいテーマで、学生にとってもためになる内容であった。また、アメリカ英語とイギリス英語の違いにも配慮をして、その背後にある社会的相違や文化的相違にも触れていた点は良かった点である。また、学生の英語に対するアプローチ(リスニング・討論・発表・スピーキングなど)様々なスキルを蜜漬させようとする姿勢がはっきりと見ることができた。しかも、バランスよく配置されていた。また、学生に対する問いかけの際には、ソフトウェアを使い、時間を測ったり、様々なクイズ形式を用いて、学生が関心を持続できるように、工夫されていた。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 履修者の数が少ない(なお、前期は20名以上だったそう)ので、きめの細かい対応が可能であった。したがって、個人レベルのスキルを磨くには、極めて適していた授業内容といえるだろう。しかしながら、制度的・文化的制約もあるようだ。まず、学生の声が小さい。コミュニケーションにおいては、基本的な声の大きさが、それを十分に満たしていなかった。これについては、担当教員と話をしたが、日本の学生全般に言えることで、以下に彼らの声を大きくコミュニケーションさせるかという改善点が浮かんでくる。また、会話内容について、英語で考え・話す以前に、日本語で十分に表現できる内容にしておく必要があるように思えた。これについても、単に授業内容や方法を変えれば問題解決になるとは言えないようで、日常生活レベルでの日本語と英語の使用方法にも手を入れておく必要があるだろう。			



学部	総合教育研究部	実施教員	末次美樹
1. 実施日・曜日・時限	11月16日(水)2時限	教場	第2研究館101教場
2. 実施科目名	生涯スポーツ実習	報告責任者	山口 良博
3. 履修登録者数	25人		
4. 公開授業参観者数	1人		
5. 授業実施状況 体育実技における「健康&ストレッチ」に関する授業で、当日はストレッチボールやマットを用いたストレッチが中心の内容であった。準備運動の後、反応ゲームを用いて学生間のコミュニケーションを促しながら脳や身体へ刺激を入れ、その後腹筋トレーニングや、ペアや個人でのストレッチを中心に授業が進められた。その間、各動作に対して適宜アドバイスがあり、きめ細やかな授業が行われていた。			
6. 授業の良かった点 ストレッチが中心の授業ということで、リラックスして取り組めるような雰囲気を作りつつ、呼吸法なども含め動作ごとに適宜アドバイスが行われていた。学生がただストレッチなどをこなすだけでなく、最大限の効果があるようにきめ細やかなアドバイスが適宜行われていることが学生の満足度の高さに繋がっていると感じました。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 この授業はとてもしっかりやすく、改善すべきポイントをあまり見つけることができなかった。強いて言えば、今回は9回目の授業ということで、これまでに各種ストレッチ方法について説明を受けていて学生の理解度は高いと思われるが、途中で他の人とは違うフォームで実践している学生も見受けられた。講義時のように教員が前方にいて説明や見本を行っていたが、場合によっては、円座や巡回しながら行うとより伝わりやすく効果的な指導を行えるのではと感じました。			

学部	総合教育研究部	実施教員	小池 孝範
1. 実施日・曜日・時限	11月15日(火)4時限	教場	7-404
2. 実施科目名	教育制度・環境論	報告責任者	山本 敏子
3. 履修登録者数	41人		
4. 公開授業参観者数	1人		
5. 授業実施状況 「教育制度・環境論」は、主に2年生が履修する教職科目「教育の基礎的理解に関する科目」のうち「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」を扱う必修の授業科目である。文科省による教職課程コアカリキュラムに対応した本学教職課程独自の共通シラバスとなっており、第9回のテーマは「世界の教育事情・教育改革・教育政策」であった。 授業の冒頭、「世界的な教育の課題として何があるだろう？」という受講者への問いかけに始まり、SDGs 17の目標の「4. 質の高い教育をみんなに」を取り上げて、インクルーシブ教育やシティズンシップ教育など世界と日本の「共生社会の実現と教育」について深く掘り下げる本題の授業に入った。 授業形態としては、オリジナルな自作資料に基づき、スライドをスクリーンに映しながらの対面型(オンライン併用)で行われた。受講者にはスライドを両面印刷したA4プリント1枚が配布され、スライドに沿ってわかりやすく説明するという講義形式を基本としつつも、受講者が身近な問題として具体的に考えられるように動画(ニュース映像等)を視聴する機会を巧みに織り込み、また、授業の前と最後にはグループディスカッションを取り入れる等、受講者が主体的に授業に参加できる工夫が随所に盛り込まれていた。 授業の最後に次回以降の課題と関わる「子供の貧困と学力格差」について検討し、「学校で/学校としてできることは何だろうか」をまず一人で考え、その後周りの人と意見交換することで授業が終了した。			
6. 授業のよかった点 教育哲学が専門であり、「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に関する授業は初めて担当するとのことだったが、教育の歴史的背景や条約、教育法規、学習指導要領にも詳しく触れて、密度の濃い授業であった。特によかった点としては、以下である。 ・授業の最初に、復習を兼ね、第9回が「教育制度・環境論」全14回の中でどういう位置を占めるかについて流れを説明されていたので、その前の回に欠席した者も参加しやすい。 ・ある事象、例えば社会的排除の状況を示す事例として、ニュース映像の一部を短時間効果的に視聴する形が採られており、受講者の理解と考察の一助となっている。 ・その回限りのリアクションペーパーではなく、受講者一人ひとりに質問・感想シートが用意されており、毎回、受講者はそれに質問や感想を記入して担当教員に提出し、次の回に担当教員がコメントを付して返却する形により、双方向の授業となっている。			
7. こうすればさらに良くなると思った点 授業の前と最後にグループディスカッションの機会を設け、特に最後は活発な話し合いが行われていた。時間が許すようであれば、各グループで出た意見を発表し、クラスで共有する機会があれば、受講者の視野がさらに広がる良い機会になると思った。			

## 5. 学生による授業アンケート

### (1) 「学生による授業アンケート」の概要

各教員の授業の改善を目的に、2022（令和4）年度「学生による授業アンケート」を下記の要領で実施した。C-Learning システムを利用し、Web 上で学生は回答をし、教員は結果を確認し、学生にフィードバックをする方式をとっている。本報告書では、集約したデータの学部学科専攻部門・質問項目ごとの平均値を示した。

#### ◇実施期間

下記の期間に、該当科目の授業時間内に実施した。

前期（前期終了科目対象）：2022年 7月2日～7月15日

後期（後期・通年科目対象）：2022年12月9日～12月22日

#### ◇対象科目および対象学生数

全科目を対象に実施した。ただし、受講者数が10名未満の科目は対象外とした。

前期 1,580 科目 90,312 人

後期 2,277 科目 129,800 人

#### ◇実施科目数および回答者数（延べ人数）

前期 1,580 科目

対象者：90,312 人

回答者：54,663 人（60.5%）

後期 2,277 科目

対象者：129,800 人

回答者：64,387 人（49.6%）

## (2) 授業アンケート質問項目

Q 1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- 7: シラバスを見て授業内容に興味を持った
- 6: シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- 5: 履修モデル(コース制等)を見て決めた
- 4: 資格の取得
- 3: 必修科目または選択科目だったから
- 2: 時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- 1: その他

Q 2. この授業の授業外学習(予習・復習・課題・試験準備など)の時間は1週間に何時間くらいですか。

- 5: 3時間以上～
- 4: 2時間以上～3時間未満
- 3: 1時間以上～2時間未満
- 2: 1時間未満
- 1: 全くしていない

Q 3. あなたは授業に積極的に取り組んでいますか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない

Q 4. この授業を何回欠席しましたか。

※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。

(半期科目)

6: 0回    5: 1回    4: 2回    3: 3回    2: 4回    1: 5回以上

(通年科目)

11: 0回    10: 1回    9: 2回    8: 3回    7: 4回    6: 5回    5: 6回    4: 7回  
3: 8回    2: 9回    1: 10回以上

Q 5. 授業時間・回数は確保されていますか。(補講・YeStudy等による課題授業含む)

※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。

Q 6. この授業はシラバスの内容に沿って行われていますか。

- Q 7. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。  
※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。  
(Q 5～7 選択肢)  
5: そう思う  
4: ややそう思う  
3: どちらとも言えない  
2: ややそう思わない  
1: そう思わない
- Q 8. この授業での教材・資料（配信教材）や板書等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。  
※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。  
5: そう思う  
4: ややそう思う  
3: どちらとも言えない  
2: ややそう思わない  
1: そう思わない  
0: 教科書・配付資料（配信教材）等がない授業
- Q 9. 教員は授業内容に沿った話し方や授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。  
※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。  
5: そう思う  
4: ややそう思う  
3: どちらとも言えない  
2: ややそう思わない  
1: そう思わない
- Q 10. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。  
※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。  
5: そう思う  
4: ややそう思う  
3: どちらとも言えない  
2: ややそう思わない  
1: そう思わない  
0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合
- Q 11. あなたはこの科目の授業内容についてよく理解できていますか。  
※学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。
- Q 12. あなたはこの授業を通じて自主的な学びの姿勢が身に付きましたか。

Q13. あなたはこの授業によって力がついたと思いますか。

(Q11～13選択肢)

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

Q14. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q15. この授業の改善して欲しい点を具体的に記入してください。

Q16. 教員自由設定質問 (選択)

Q17. 教員自由設定設問 (記述)

Q18. あなたは「健康・スポーツ実習」でどの種目を行っていますか。(通年科目のみ設問)

12: サッカー

11: テニス

10: 卓球

9: ゴルフ

8: 体操・トランポリン

7: ダンス

6: 柔術

5: ジョギング

4: トレーニング

3: ライフ&フィットネス

2: 室内球技

1: 屋外球技

Q19. あなたは「生涯スポーツ実習」でどの種目を行っていますか。

6: テニス

5: ゴルフ

4: 卓球&ユニホック(ネオホッケー)

3: ダブルダッチ

2: ストレッチ&健康体育

1: 室内球技

### (3) 項目別平均値

「項目別平均値」に関しては、前期・後期で実施されたアンケートについて、質問項目Q2～13の学部・学科・専攻・部門別平均値を表に示したものである。学科・専攻・部門は、担当教員の所属による集計となっている。

これらの表を解釈する際、Q2～4までが学生の授業への取り組みについての結果であるのに対して、Q5～13までが該当授業の内容についての結果であることを念頭においておく必要がある。

なお、学生による自由記述項目(Q14)並びに体育実技科目のみの設問(Q18・19)に関してはここでは報告していない。

表1 学科等別平均値(前期実施科目) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文			
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値		1.4	1.4	-	1.6	1.5	2.0	1.7	1.3	2.1	2.5	-	2.5
Q3 平均値		4.3	4.3	-	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	-	4.2
Q4 平均値		4.7	4.7	-	4.5	4.3	5.1	5.0	5.3	4.6	5.0	-	5.0
Q5 平均値		4.5	4.5	-	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.7	4.6	-	4.6
Q6 平均値		4.7	4.7	-	4.7	4.7	4.6	4.4	4.2	4.7	4.6	-	4.6
Q7 平均値		4.5	4.5	-	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.6	4.3	-	4.3
Q8 平均値		5.1	5.1	-	5.4	5.4	5.4	5.4	5.1	5.6	5.4	-	5.4
Q9 平均値		4.6	4.6	-	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.7	4.3	-	4.3
Q10 平均値		4.5	4.5	-	4.7	4.7	4.7	4.5	4.5	4.5	4.7	-	4.7
Q11 平均値		4.5	4.5	-	4.3	4.2	4.4	4.2	4.1	4.2	4.4	-	4.4
Q12 平均値		4.2	4.2	-	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	4.0	4.1	-	4.1
Q13 平均値		4.3	4.3	-	4.1	4.1	4.2	4.1	3.9	4.3	4.2	-	4.2
有効回答数		156			143			266			187		

(学部)学科	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	専任・非常勤	全体	専任	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.0	1.9	1.8	1.9	2.1	2.3	2.0
Q3 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0	3.9	3.7	4.0	4.2	4.3	4.1
Q4 平均値	5.2	5.3	5.1	5.2	5.2	5.1	5.0	4.9	5.0	5.3	5.6	5.1
Q5 平均値	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	4.5	4.5	4.3	4.6	4.6	4.7	4.6
Q6 平均値	4.5	4.6	4.4	4.6	4.7	4.5	4.4	4.1	4.5	4.5	4.6	4.5
Q7 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.2	4.0	4.4	4.4	4.5	4.4
Q8 平均値	5.3	5.4	5.2	5.4	5.4	5.4	5.2	4.8	5.4	5.4	5.6	5.3
Q9 平均値	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5	4.2	3.9	4.4	4.5	4.7	4.4
Q10 平均値	4.2	4.0	4.3	4.5	4.5	4.4	4.3	4.1	4.4	4.6	5.2	4.3
Q11 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	3.7	4.1	4.2	4.3	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	3.8	3.6	4.0	4.0	4.2	3.9
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	3.7	4.1	4.2	4.4	4.1
有効回答数	991			814			683			459		

(学部)学科	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	1.9	2.0	1.8	2.1	2.2	2.0
Q3 平均値	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.1
Q4 平均値	5.1	5.2	5.1	5.3	5.5	5.2	5.5	5.6	5.5	5.3	5.4	5.2
Q5 平均値	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6
Q6 平均値	4.6	4.3	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.5	4.4	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
Q8 平均値	5.5	5.4	5.5	5.3	5.4	5.3	5.4	5.5	5.4	5.4	5.5	5.4
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5
Q10 平均値	4.4	4.7	4.3	4.5	4.8	4.4	4.7	4.8	4.7	4.7	4.9	4.6
Q11 平均値	4.2	3.9	4.3	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
Q12 平均値	4.0	3.8	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	4.2	4.0	4.3	4.1	4.2	4.1	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2
有効回答数	297			1,361			804			2,487		

(学部)学科	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.0	2.2	2.0
Q3 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.0
Q4 平均値	5.2	5.2	5.1	5.2	5.2	5.3	5.2	5.2	5.1	5.3	5.5	5.3
Q5 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.0	4.5
Q6 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.0	4.5
Q7 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.0	4.4
Q8 平均値	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.0	5.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.4	3.9	4.4
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.3	4.4	4.2	4.4
Q11 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.8	4.1
Q12 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	3.7	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	3.7	4.1
有効回答数	4,717			3,786			2,418			922		

(学部)学科	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療健康科)		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.2	2.3	2.0	2.2	2.2	2.3	2.1	2.0	2.2	2.2	2.3	1.9
Q3 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	3.8
Q4 平均値	5.1	5.2	5.1	5.3	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.6	5.7	5.4
Q5 平均値	4.6	4.5	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
Q7 平均値	4.4	4.4	4.4	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q8 平均値	5.4	5.4	5.4	5.1	5.1	5.2	5.2	5.3	5.1	5.4	5.4	5.5
Q9 平均値	4.5	4.4	4.5	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.3	4.1
Q11 平均値	4.2	4.2	4.1	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.2	4.0
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	3.9
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.1
有効回答数	1,499			2,031			1,843			1,636		



(学部)学科	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.4	2.3	2.6	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1
Q3 平均値	4.3	4.2	4.3	4.0	3.9	4.0	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3
Q4 平均値	5.3	5.4	5.2	5.0	4.9	5.1	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	5.0
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.4	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6
Q8 平均値	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.3	5.3	5.4	5.2	5.5	5.5	5.5
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.4	4.4	4.5	4.2	4.6	4.5	4.6
Q10 平均値	4.9	4.8	5.0	4.3	4.1	4.4	4.3	4.4	4.2	4.8	4.8	4.9
Q11 平均値	4.3	4.3	4.2	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値	4.2	4.2	4.2	3.9	3.8	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.3	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
有効回答数	4,791			3,555			3,001			1,481		

(学部)学科	(総合)外国語第一			(総合)外国語第二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.3	2.4	2.5	2.3	2.6	1.6	1.6	-	2.0	2.0	2.0
Q3 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	-	4.2	4.3	4.2
Q4 平均値	5.0	5.0	5.0	5.1	5.1	5.1	5.0	5.0	-	5.3	5.3	5.3
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	-	4.7	4.7	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	-	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	4.5	4.5	-	4.5	4.6	4.4
Q8 平均値	5.3	5.2	5.3	5.4	5.4	5.4	4.9	4.9	-	5.4	5.5	5.4
Q9 平均値	4.4	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	-	4.5	4.7	4.4
Q10 平均値	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	-	4.6	4.6	4.6
Q11 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.5	4.5	-	4.4	4.5	4.3
Q12 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	-	4.2	4.4	4.2
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	-	4.3	4.5	4.3
有効回答数	8,588			3,473			555			1,573		

表2 学科等別平均値（後期実施科目）

(学部)学科	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常勤												
Q2 平均値	2.0	2.0	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.0	2.4	2.4	2.4
Q3 平均値	4.1	4.1	3.9	4.0	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q4 平均値（後期）	4.3	4.3	-	4.2	4.1	4.3	4.9	5.3	4.5	4.5	-	4.5
Q4 平均値（通年）	8.8	8.8	9.0	8.5	8.5	8.3	9.4	9.4	9.4	9.2	9.3	9.0
Q5 平均値	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4
Q8 平均値	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4
Q9 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.7	4.5	4.6	4.4
Q11 平均値	4.2	4.2	4.0	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
Q12 平均値	4.1	4.1	3.9	4.0	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
Q13 平均値	4.2	4.2	3.9	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2
有効回答数	2,015			2,701			1,902			1,448		

(学部)学科	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常勤												
Q2 平均値	2.3	2.4	2.2	2.3	2.3	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3
Q3 平均値	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0	4.1	4.0	4.1
Q4 平均値（後期）	5.0	5.1	5.0	4.9	5.0	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	5.1	4.7
Q4 平均値（通年）	9.8	10.1	9.6	9.6	9.6	9.3	9.3	9.4	9.0	9.8	9.9	9.6
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.6
Q7 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4
Q8 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5
Q11 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	3.9	4.2
Q12 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3
有効回答数	900			935			1,355			932		

(学部)学科	(文)考古学			(文)社会学			(文)社会福祉学			(文)心理		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.4	2.2	2.2	2.3	2.1	1.9	1.9	1.8	2.1	2.3	2.0
Q3 平均値	4.3	4.2	4.6	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.1	4.2	4.3	4.1
Q4 平均値 (後期)	5.5	5.4	5.5	5.1	5.1	5.1	5.2	5.3	5.2	5.0	5.3	4.9
Q4 平均値 (通年)	9.9	9.7	10.4	9.7	10.3	9.6	9.7	9.9	9.3	10.3	10.3	-
Q5 平均値	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.8	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	4.5
Q7 平均値	4.5	4.5	4.7	4.3	4.4	4.3	4.6	4.6	4.4	4.5	4.7	4.4
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.3	4.5	4.2	4.6	4.6	4.4	4.5	4.7	4.4
Q9 平均値	4.6	4.5	4.6	4.3	4.5	4.2	4.6	4.7	4.4	4.5	4.7	4.4
Q10 平均値	4.6	4.6	4.7	4.4	4.6	4.3	4.6	4.7	4.5	4.6	4.7	4.5
Q11 平均値	4.3	4.3	4.5	4.2	4.2	4.1	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2
Q12 平均値	4.3	4.2	4.4	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.1	4.1	4.3	4.1
Q13 平均値	4.4	4.4	4.6	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.2	4.3	4.5	4.2
有効回答数	575			1106			1,029			2,138		

(学部)学科	(経済)経済			(経済)商			(経済)現代応用			(法)法律		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.1	2.3	2.4	2.2	2.3	2.4	2.1
Q3 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	3.9	4.0
Q4 平均値 (後期)	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
Q4 平均値 (通年)	9.4	9.9	9.3	9.6	9.6	-	9.4	9.8	9.0	9.3	9.2	9.3
Q5 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5
Q7 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4
Q8 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3	4.3	4.2	4.4
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4
Q11 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	3.9	4.0
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1	4.0	4.1
有効回答数	3,482			2,443			1,741			5,762		

(学部)学科	(法)政治			(経営)経営			(経営)市場戦略			(医療健康科)		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常勤												
Q2 平均値	2.3	2.4	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.6	2.7	1.8
Q3 平均値	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.0
Q4 平均値 (後期)	5.0	5.1	5.0	4.9	4.8	4.9	5.0	5.0	5.1	5.5	5.5	5.5
Q4 平均値 (通年)	9.3	9.3	9.5	9.6	9.7	9.4	9.4	9.4	5.5	11.0	11.0	-
Q5 平均値	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q7 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.6
Q8 平均値	5.3	5.2	5.4	5.3	5.2	5.3	5.2	5.3	5.2	5.3	5.2	5.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.6
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.6	4.2	4.4	4.4	4.1
Q11 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3
Q12 平均値	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q13 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
有効回答数	3,058			2,885			1,586			1,215		

(学部)学科	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常勤												
Q2 平均値	2.4	2.4	2.6	2.0	1.9	2.0	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	1.9
Q3 平均値	4.2	4.2	4.3	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2
Q4 平均値 (後期)	5.0	5.0	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7
Q4 平均値 (通年)	9.3	-	9.3	9.4	9.3	9.5	-	-	-	-	-	-
Q5 平均値	4.6	4.6	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.5
Q8 平均値	5.4	5.3	5.4	5.3	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	5.5	5.6	5.4
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.5
Q10 平均値	4.8	4.7	5.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.7	4.6	4.8
Q11 平均値	4.3	4.3	4.4	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3
Q12 平均値	4.2	4.2	4.3	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.3	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3
有効回答数	3,557			4,127			2,448			1,287		

(学部)学科	(総合)外国語一			(総合)外国語二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	2.6	1.5	1.5	1.3	2.1	2.1	2.0
Q3 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.7	4.2	4.4	4.1
Q4 平均値(後期)	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	5.0	4.8	4.9	4.7
Q4 平均値(通年)	9.4	9.6	8.8	9.1	9.1	-	9.1	9.1	-	9.5	9.4	9.9
Q5 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.9	4.7	4.7	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.8	4.5	4.6	4.4
Q8 平均値	5.4	5.2	5.4	5.5	5.6	5.5	4.6	4.6	4.9	5.4	5.5	5.4
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値	4.8	4.7	4.9	5.0	5.0	4.9	4.8	4.8	5.1	4.5	4.7	4.4
Q11 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.6	4.6	4.9	4.4	4.5	4.3
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.8	4.2	4.3	4.1
Q13 平均値	4.2	4.1	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.8	4.3	4.4	4.3
有効回答数	7,375			2,694			1,375			1,640		

表3 学科等別平均値(全体)

(学部)学科	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.0	2.0	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.0	2.4	2.4	2.4
Q3 平均値	4.1	4.1	3.9	4.0	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q4 平均値(前後期)	4.5	4.5	-	4.3	4.2	4.7	5.0	5.3	4.6	4.8	-	4.8
Q4 平均値(通年)	8.8	8.8	9.0	8.5	8.5	8.3	9.4	9.4	9.4	9.2	9.3	9.0
Q5 平均値	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.4
Q8 平均値	5.3	5.3	5.2	5.4	5.4	5.5	5.5	5.5	5.6	5.4	5.4	5.4
Q9 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.7	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.6	4.7	4.4	4.7	4.7	4.9	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
Q11 平均値	4.2	4.2	4.0	4.2	4.1	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
Q12 平均値	4.1	4.1	3.9	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2
Q13 平均値	4.2	4.2	3.9	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2
有効回答数	2,171			2,844			2,168			1,635		

(学部) 学科	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.3	2.2	2.2	2.3	2.0	2.1	2.1	2.0	2.2	2.2	2.1
Q3 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1
Q4 平均値(前後期)	5.2	5.3	5.1	5.1	5.2	5.0	4.9	4.8	4.9	5.1	5.3	4.9
Q4 平均値(通年)	9.8	10.1	9.6	9.6	9.6	9.3	9.3	9.4	9.0	9.8	9.9	9.6
Q5 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6
Q7 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q8 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.3
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
有効回答数	1,891			1,749			2,038			1,391		

(学部) 学科	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.3	2.2	2.1	2.3	2.1	1.9	1.9	1.8	2.1	2.2	2.0
Q3 平均値	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.1
Q4 平均値(前後期)	5.2	5.3	5.1	5.2	5.3	5.2	5.4	5.5	5.4	5.2	5.4	5.0
Q4 平均値(通年)	9.9	9.7	10.4	9.7	10.3	9.6	9.7	9.9	9.3	10.3	10.3	-
Q5 平均値	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6
Q6 平均値	4.6	4.5	4.7	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	4.5	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	4.3	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.4
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.4
Q9 平均値	4.5	4.5	4.6	4.3	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.4
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.3	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.1	4.3	4.4	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1
Q13 平均値	4.3	4.3	4.4	4.2	4.2	4.1	4.3	4.4	4.2	4.3	4.4	4.2
有効回答数	872			2,467			1,833			4,625		

(学部)学科	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	2.2	2.2	2.4	2.1
Q3 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0
Q4 平均値(前後期)	5.1	5.1	5.0	5.1	5.1	5.2	5.1	5.1	5.0	5.1	5.3	5.1
Q4 平均値(通年)	9.4	9.9	9.3	9.6	9.6	-	9.4	9.8	9.0	9.3	9.2	9.3
Q5 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5
Q6 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5
Q7 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4
Q8 平均値	5.2	5.2	5.2	5.3	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.3
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.3	4.1	4.0	4.1
Q11 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	3.9	4.1
Q12 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1
有効回答数	8,199			6,229			4,159			6,684		

(学部)学科	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療健康科)		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.2	2.3	2.1	2.3	2.3	2.3	2.2	2.1	2.2	2.4	2.5	1.9
Q3 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	3.9
Q4 平均値(前後期)	5.1	5.2	5.0	5.1	5.1	5.2	5.2	5.2	5.2	5.6	5.6	5.4
Q4 平均値(通年)	9.3	9.3	9.5	9.6	9.7	9.4	9.4	9.4	5.5	11.0	11.0	-
Q5 平均値	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q7 平均値	4.4	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
Q8 平均値	5.3	5.2	5.4	5.2	5.2	5.3	5.2	5.3	5.1	5.3	5.3	5.5
Q9 平均値	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.3	4.3	4.4	4.1
Q11 平均値	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.3	4.0
Q13 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2
有効回答数	4,557			4,916			3,429			2,851		

(学部)学科	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.4	2.3	2.6	2.0	2.0	2.0	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0
Q3 平均値	4.2	4.2	4.3	4.0	3.9	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3
Q4 平均値(前後期)	5.2	5.2	5.1	4.9	4.8	4.9	5.0	5.0	4.9	4.8	4.8	4.9
Q4 平均値(通年)	9.3	-	9.3	9.4	9.3	9.5	-	-	-	-	-	-
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.3	4.6	4.6	4.5
Q8 平均値	5.3	5.3	5.4	5.3	5.3	5.3	5.4	5.4	5.3	5.5	5.5	5.5
Q9 平均値	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.3	4.6	4.6	4.5
Q10 平均値	4.9	4.7	5.0	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	4.8	4.7	4.8
Q11 平均値	4.3	4.3	4.3	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.1	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値	4.2	4.2	4.2	3.9	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.3	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3
有効回答数	8,348			7,682			5,449			2,768		

(学部)学科	(総合)外国語第一			(総合)外国語第二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	2.3	2.3	2.4	2.5	2.4	2.6	1.5	1.5	1.3	2.0	2.0	2.0
Q3 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.7	4.2	4.3	4.2
Q4 平均値(前後期)	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	5.0	5.0	5.1	5.0
Q4 平均値(通年)	9.4	9.6	8.8	9.1	9.1	-	9.1	9.1	-	9.5	9.4	9.9
Q5 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.9	4.7	4.7	4.6
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.8	4.5	4.6	4.4
Q8 平均値	5.3	5.2	5.3	5.5	5.5	5.5	4.7	4.7	4.9	5.4	5.5	5.4
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値	4.8	4.8	4.9	5.0	5.0	4.9	4.8	4.8	5.1	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.6	4.9	4.4	4.5	4.3
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.8	4.2	4.3	4.2
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.8	4.3	4.4	4.3
有効回答数	15,963			6,167			1,930			3,213		



(4) 受講生の講義への取り組み

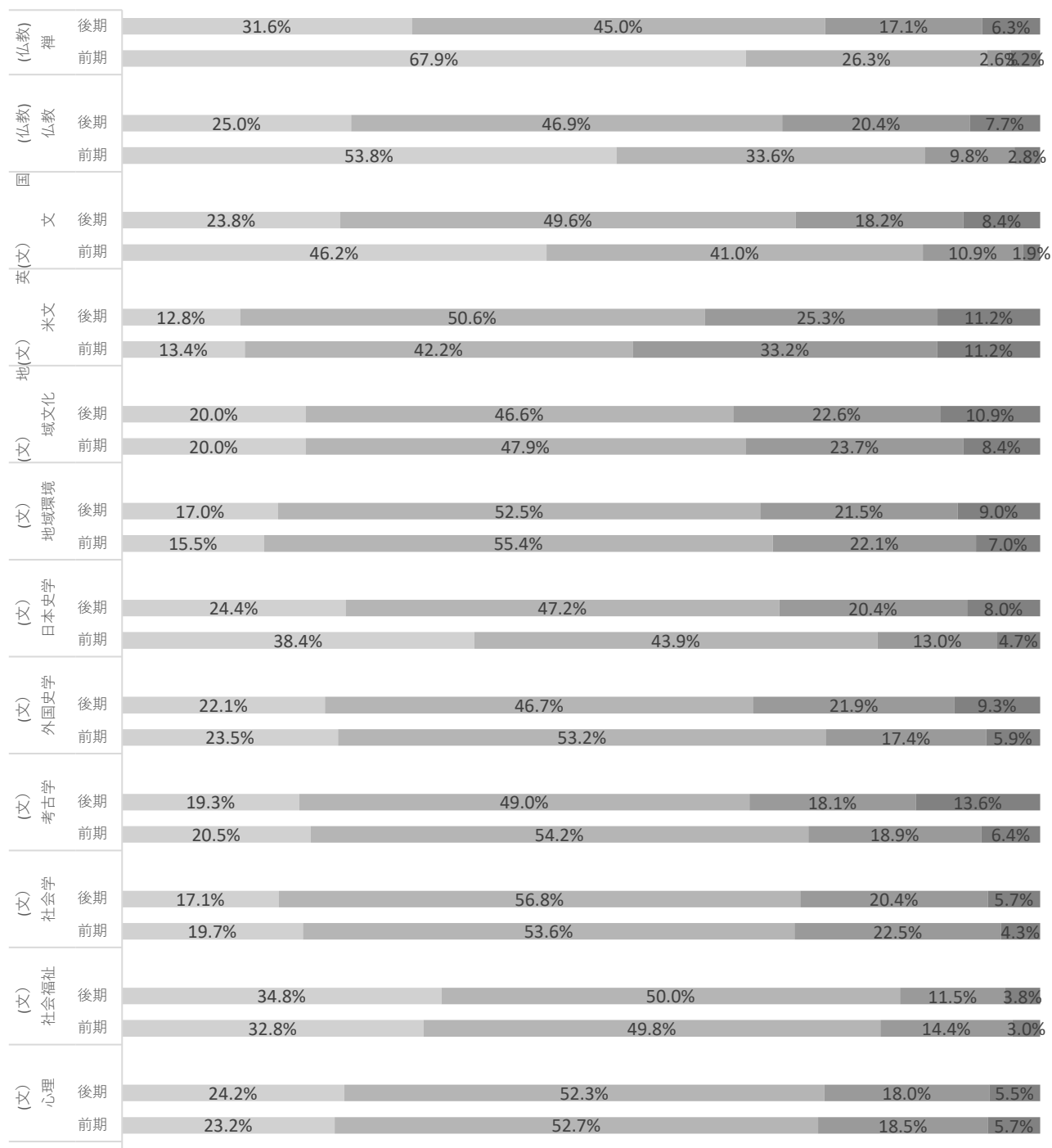
「受講生の講義への取り組み」に関しては、(3)項目別平均値における学部・学科・部門別の全体・専任・非常勤別平均値を示している。なお、各グラフには前期実施科目と後期実施科目の平均値である。各アンケート項目は5段階評価で、ポイントが大きいほど良い評価となっている。

(注) グラフ表記の都合上、選択肢の合計がおおよそ5%前後以下のものは合算して表記している。

(注) グラフ表記の都合上、設問文の注記「学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。」を省略している(Q4)。

Q2. この授業の授業外学習（予習・復習・課題・試験準備など）の時間は1週間に何時間くらいですか。

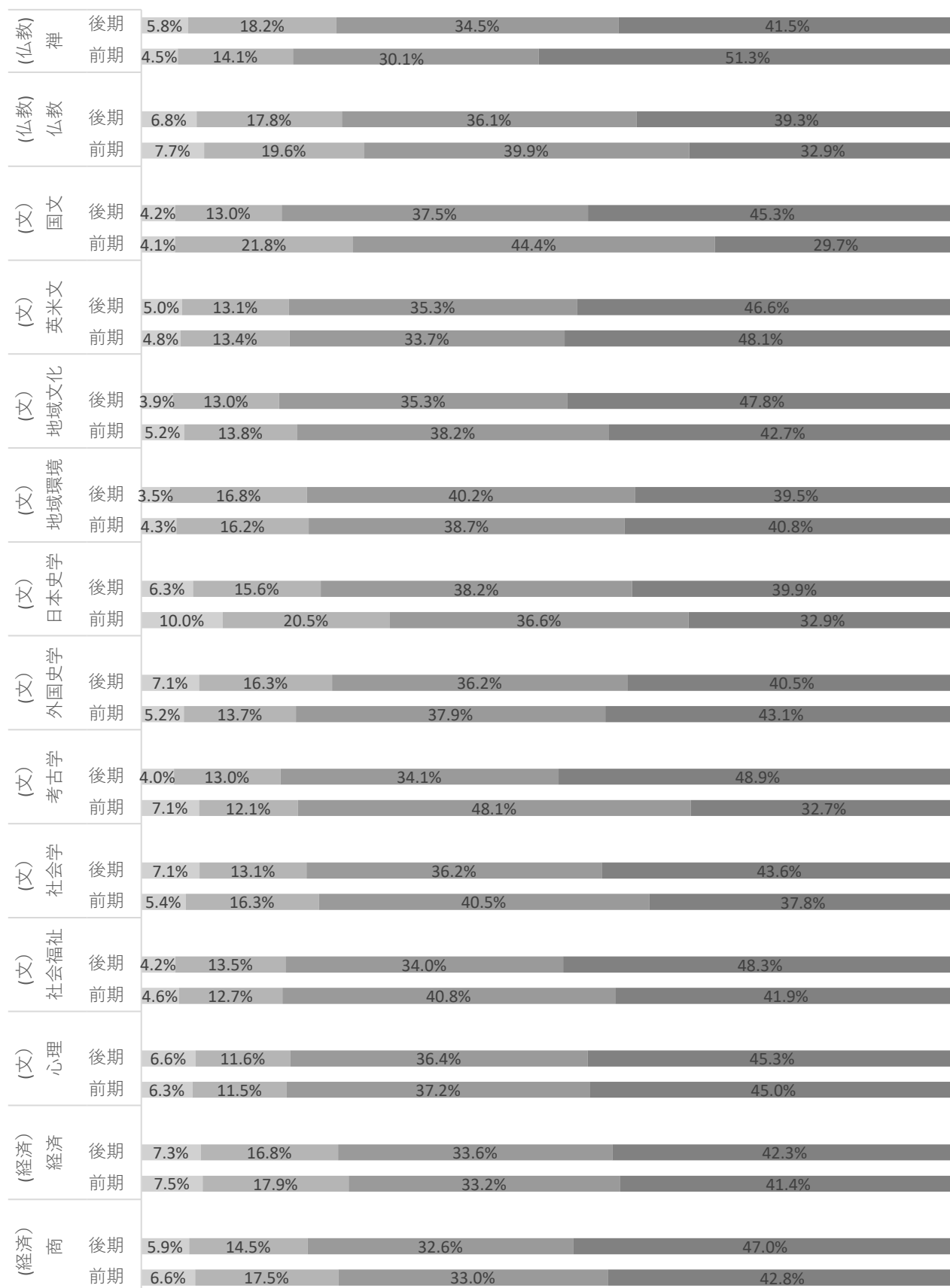
■ 全くしていない ■ 1時間未満 ■ 1時間以上～2時間未満 ■ 2時間以上



(経済)	後期	18.7%	47.8%	25.1%	8.4%
		前期	21.6%	48.9%	22.1%
(経済)	後期	23.0%	48.8%	21.1%	7.0%
		前期	24.4%	49.7%	18.6%
(経済)	後期	17.9%	48.7%	23.6%	9.9%
		前期	20.5%	48.3%	22.2%
(法)	後期	18.2%	49.1%	25.3%	7.4%
		前期	24.9%	55.7%	14.9%
(法)	後期	17.0%	49.3%	25.2%	8.4%
		前期	21.0%	51.0%	21.6%
(経営)	後期	16.2%	47.1%	27.7%	8.9%
		前期	20.8%	46.2%	25.3%
(経営)	後期	18.5%	48.2%	23.8%	9.5%
		前期	24.3%	51.5%	18.5%
(医療健康科)	後期	21.7%	36.0%	19.2%	23.0%
		前期	22.1%	45.8%	22.9%
(GMS)	後期	15.3%	44.1%	27.6%	13.1%
		前期	15.9%	43.9%	26.8%
(総合)	後期	29.5%	51.6%	14.2%	4.7%
		前期	26.7%	52.9%	15.2%
(総合)	後期	18.8%	51.9%	22.3%	7.0%
		前期	22.9%	49.3%	21.2%
(総合)	後期	26.4%	52.8%	13.8%	7.0%
		前期	27.6%	46.5%	19.1%
(総合)	後期	12.3%	51.3%	29.1%	7.3%
		前期	12.4%	50.2%	30.3%
(総合)	後期	8.2%	46.0%	34.3%	11.5%
		前期	10.4%	46.1%	33.2%
(総合)	後期	69.2%	21.5%	5.1%	4.2%
		前期	54.3%	35.6%	6.6%
(総合)	後期	23.5%	54.5%	17.6%	4.4%
		前期	29.7%	47.9%	18.3%

Q3.あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

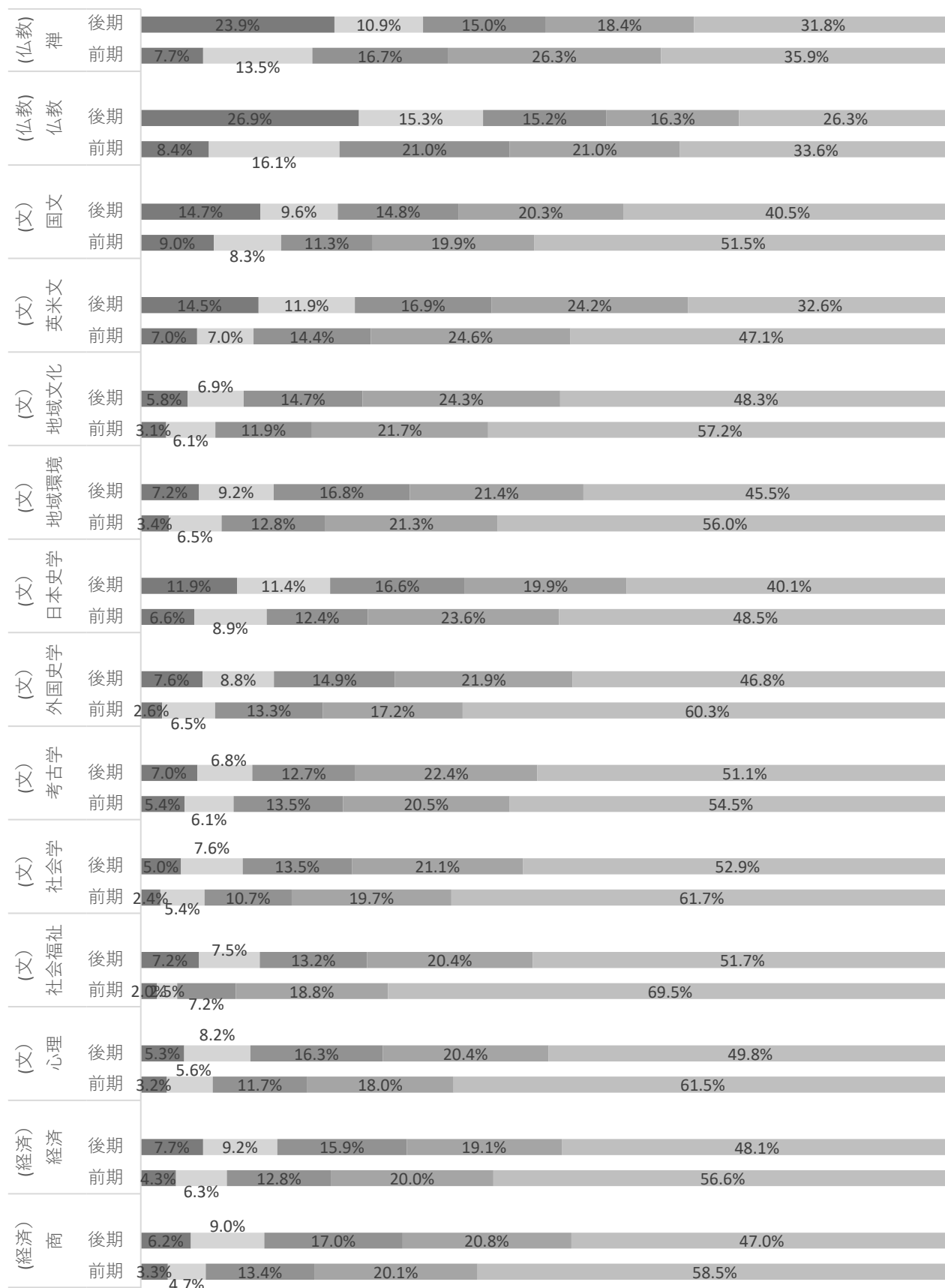
■ そう思わない、ややそう思わない    ■ どちらとも言わない    ■ ややそう思う    ■ そう思う

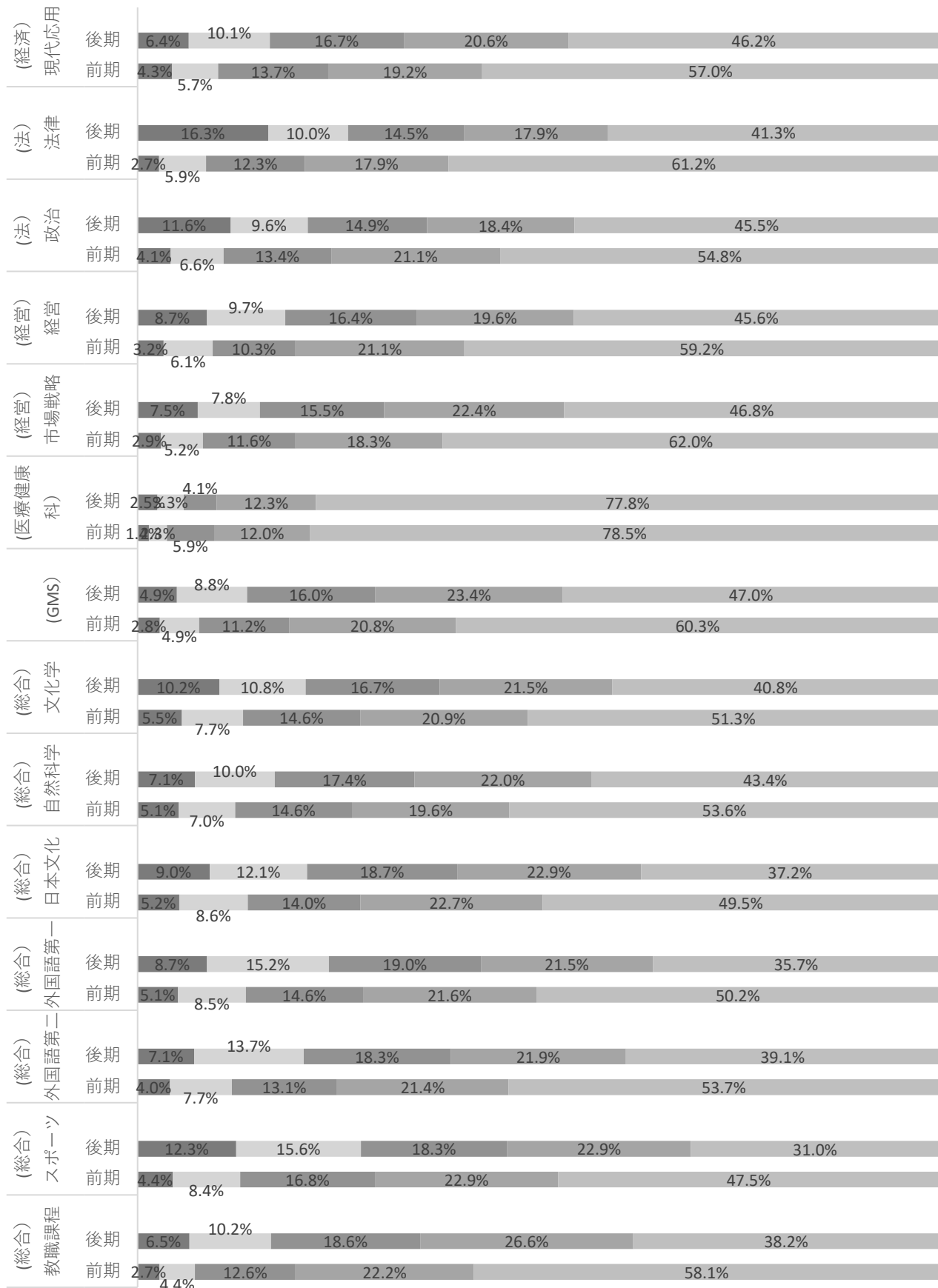


(経済)	現代応用	後期	6.0%	15.5%	34.1%	44.4%
		前期	6.4%	17.6%	35.0%	41.0%
(法)	法律	後期	8.3%	19.9%	35.7%	36.1%
		前期	8.7%	20.8%	35.0%	35.5%
(法)	政治	後期	7.5%	16.6%	35.5%	40.3%
		前期	6.5%	17.1%	37.1%	39.4%
(経営)	経営	後期	7.6%	17.5%	32.9%	42.0%
		前期	8.1%	17.9%	36.9%	37.1%
(経営)	市場戦略	後期	7.8%	15.3%	33.1%	43.8%
		前期	7.8%	15.8%	33.5%	42.8%
(医療健康 科)		後期	4.3%	13.2%	27.7%	54.8%
		前期	4.3%	14.6%	31.3%	49.8%
(GMS)		後期	5.5%	12.8%	32.5%	49.3%
		前期	5.5%	12.8%	30.6%	51.0%
(総合)	文化学	後期	8.9%	19.8%	33.1%	38.2%
		前期	8.8%	18.9%	36.2%	36.1%
(総合)	自然科学	後期	5.8%	14.0%	34.3%	45.8%
		前期	6.8%	15.9%	35.5%	41.7%
(総合)	日本文化	後期	5.2%	11.9%	35.3%	47.6%
		前期	4.4%	12.5%	35.2%	47.8%
(総合)	外国語第一	後期	5.8%	14.1%	35.8%	44.3%
		前期	5.9%	14.7%	37.7%	41.7%
(総合)	外国語第二	後期	4.7%	11.2%	33.8%	50.3%
		前期	5.0%	13.6%	34.7%	46.8%
(総合)	スポーツ	後期	3.5%	7.9%	25.4%	63.2%
		前期	6.0%	10.2%	29.4%	54.3%
(総合)	教職課程	後期	4.9%	14.1%	34.1%	46.9%
		前期	5.0%	12.0%	33.5%	49.5%

Q4.この授業を何回欠席しましたか。

■ 4回以上 ■ 3回 ■ 2回 ■ 1回 ■ 0回





(5) 授業についての評価

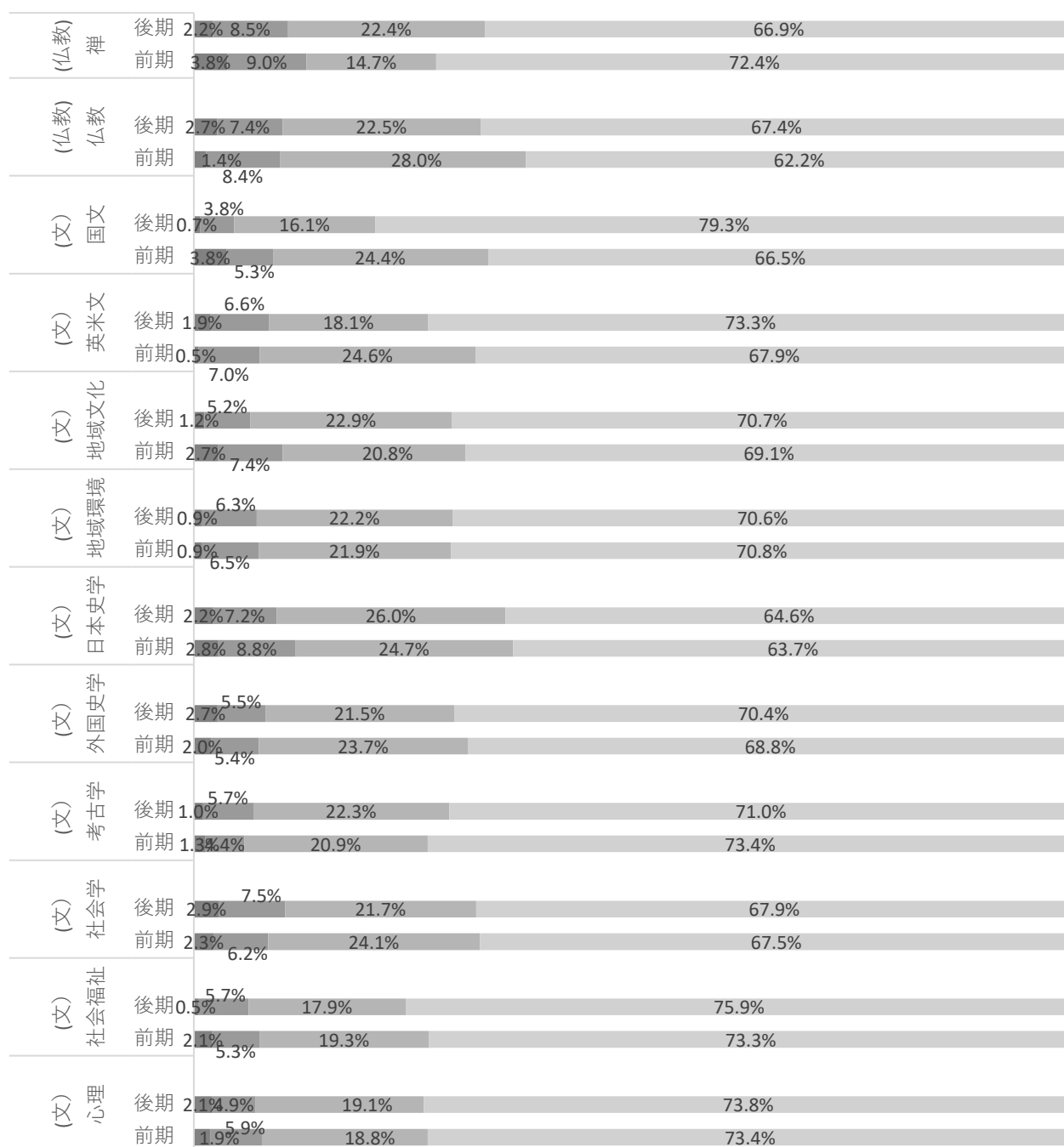
「授業についての評価」に関しては、(3)項目別平均値における学部・学科・部門別の全体・専任・非常勤別平均値に基づき、授業時間・回数の確保(Q5)、シラバスについて(Q6)、授業の進み方(Q7)、教材・資料・機材等の使い方(Q8)、授業に対する教員の取り組み(Q9～10)、授業内容の理解度(Q11)、自主的な学びの姿勢(Q12)、学修の実感(Q13)を示している。

(注) グラフ表記の都合上、選択肢の合計がおおよそ5%前後以下のものは合算して表記している。

(注) グラフ表記の都合上、設問文の注記「学外の実習を伴う場合には、学内の授業について回答してください。」を省略している(Q5・7～11)

Q5. 授業時間・回数は確保されていますか。(補講・YeStudy等による課題授業含む)

■ そう思わない、ややそう思わない ■ どちらとも言わない ■ ややそう思う ■ そう思う

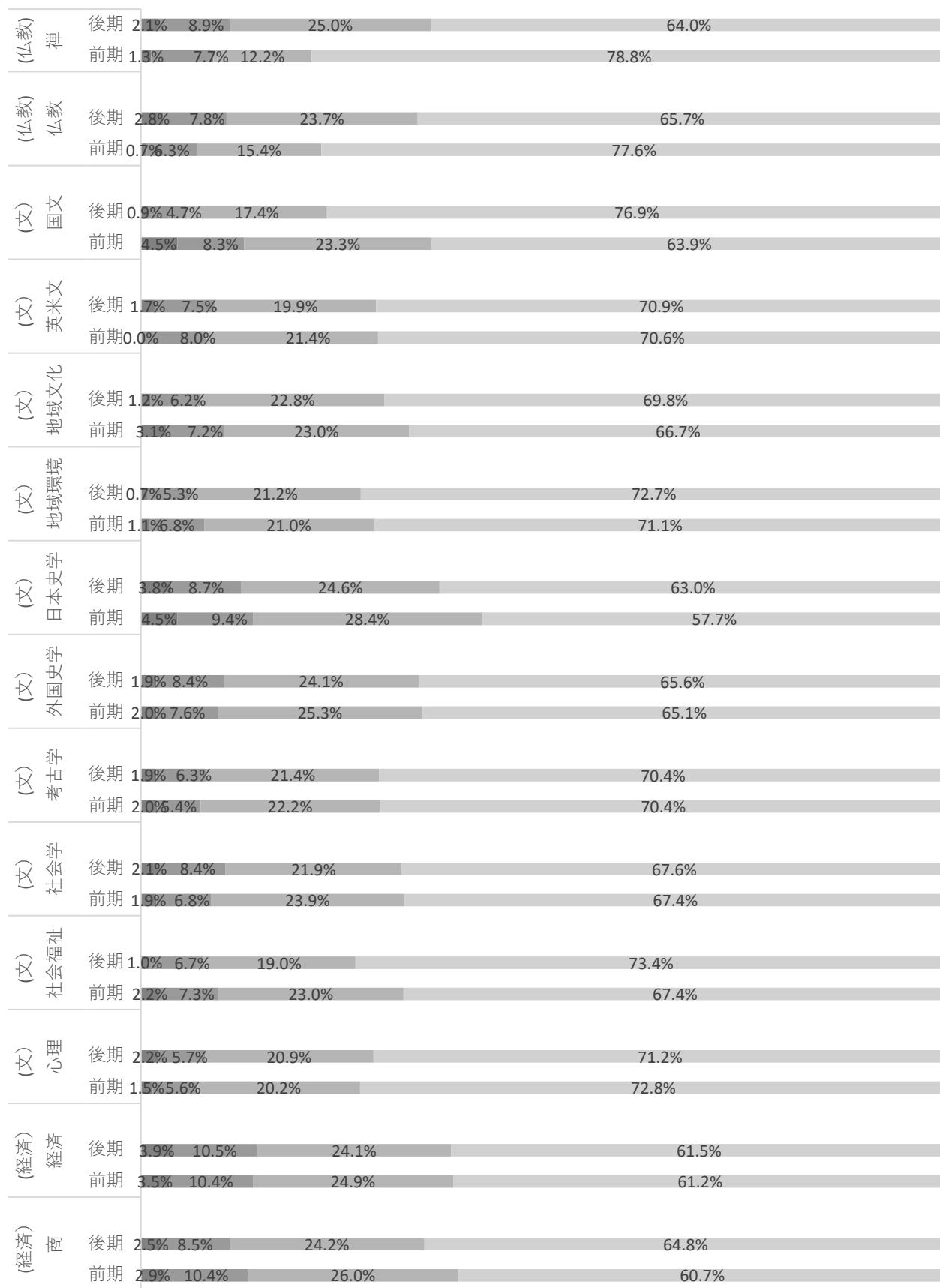


(経済)	経済	後期	3.4%	10.3%	24.1%	62.2%
		前期	3.2%	10.3%	24.3%	62.2%
(経済)	商	後期	2.4%	8.1%	24.8%	64.7%
		前期	2.5%	10.1%	25.3%	62.0%
(経済)	現代応用	後期	2.3%	8.5%	25.5%	63.7%
		前期	2.4%	10.5%	24.6%	62.5%
(法)	法律	後期	2.5%	9.8%	23.2%	64.6%
		前期	2.6%	9.0%	25.4%	63.0%
(法)	政治	後期	2.2%	8.2%	22.8%	66.8%
		前期	1.7%	6.7%	23.6%	67.9%
(経営)	経営	後期	2.9%	9.4%	22.5%	65.1%
		前期	3.2%	10.3%	22.9%	63.5%
(経営)	市場戦略	後期	3.1%	7.7%	20.6%	68.6%
		前期	3.0%	6.9%	19.0%	71.1%
(医療健康)	科	後期	2.0%	6.2%	17.1%	74.7%
		前期	1.7%	6.7%	19.1%	72.5%
(GMS)	(GMS)	後期	1.7%	5.8%	20.2%	72.3%
		前期	2.0%	6.4%	20.4%	71.3%
(総合)	文化学	後期	2.3%	9.2%	22.9%	65.6%
		前期	2.5%	8.9%	22.7%	66.0%
(総合)	自然科学	後期	1.8%	8.4%	24.8%	65.0%
		前期	2.3%	8.9%	22.7%	66.1%
(総合)	日本文化	後期	1.9%	6.3%	18.6%	73.2%
		前期	1.7%	6.7%	17.1%	74.5%
(総合)	外国語第Ⅰ	後期	2.7%	7.2%	21.2%	68.9%
		前期	2.2%	7.4%	21.3%	69.2%
(総合)	外国語第Ⅱ	後期	1.3%	6.2%	18.9%	73.6%
		前期	1.8%	5.6%	19.1%	73.5%
(総合)	スポーツ	後期	1.7%	6.0%	13.5%	78.7%
		前期	2.6%	7.5%	17.2%	72.8%
(総合)	教職課程	後期	1.4%	5.9%	18.2%	74.5%
		前期	1.1%	5.5%	18.8%	74.6%



Q6.この授業はシラバスの内容に沿って行われていますか。

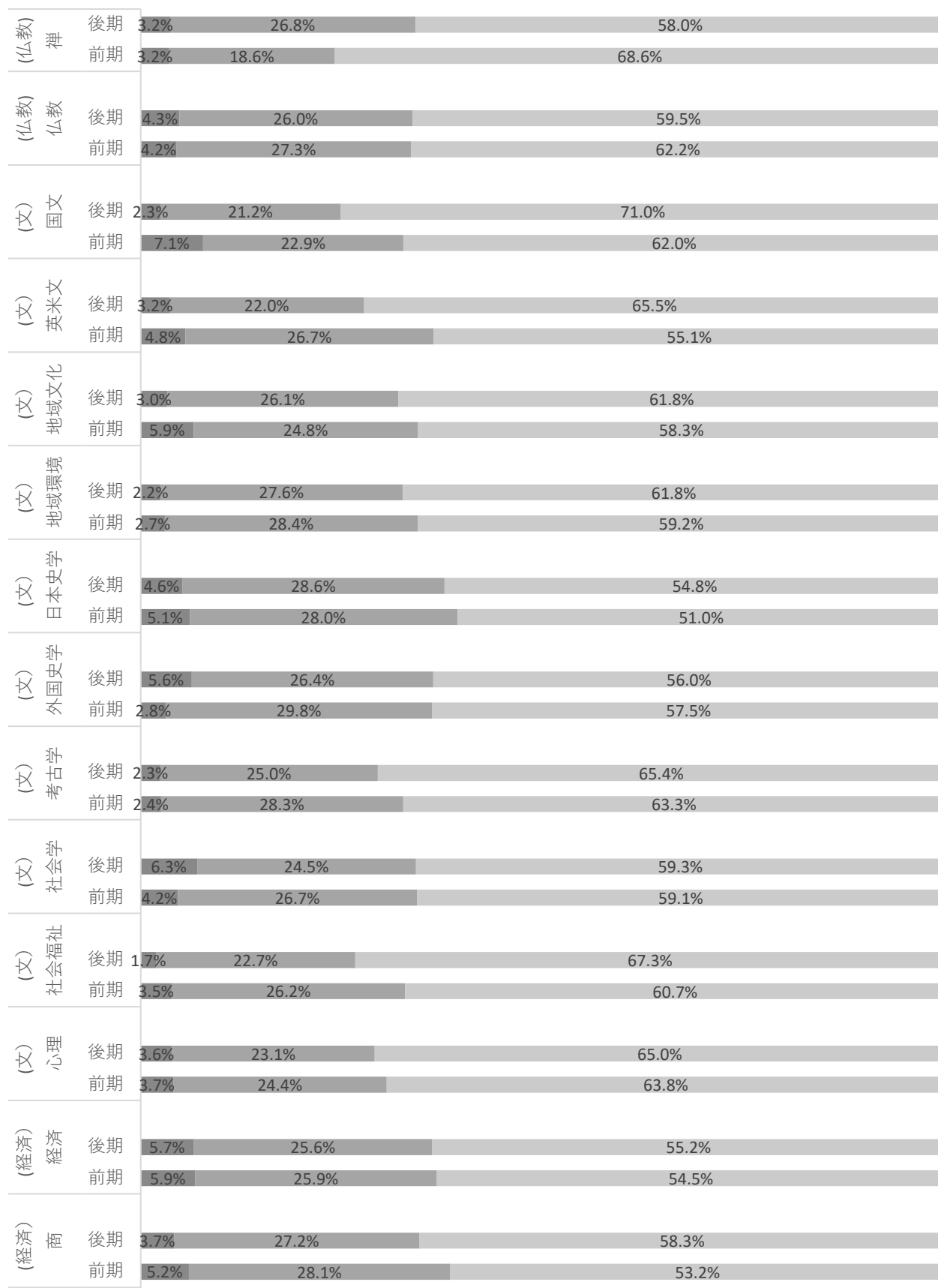
■ そう思わない、ややそう思わない    ■ どちらとも言えない    ■ ややそう思う    ■ そう思う



(経済)	現代応用	後期	2.5%	8.6%	24.5%	64.4%
		前期	2.9%	9.0%	25.5%	62.6%
(法)	法律	後期	2.7%	10.8%	24.3%	62.1%
		前期	2.5%	9.7%	25.2%	62.6%
(法)	政治	後期	2.9%	9.5%	23.9%	63.6%
		前期	2.1%	7.5%	24.5%	65.9%
(経営)	経営	後期	3.4%	10.1%	22.9%	63.6%
		前期	3.3%	10.8%	25.0%	60.9%
(経営)	市場戦略	後期	2.8%	9.4%	20.6%	67.2%
		前期	2.4%	8.3%	20.0%	69.3%
(医療健康)	科	後期	1.2%	6.7%	18.4%	73.8%
		前期	1.8%	7.0%	19.0%	72.2%
(GMS)		後期	1.4%	6.1%	18.7%	73.8%
		前期	1.4%	7.2%	19.1%	72.3%
(総合)	文化学	後期	2.6%	9.9%	23.0%	64.4%
		前期	2.6%	9.3%	24.2%	63.9%
(総合)	自然科学	後期	1.7%	7.8%	22.9%	67.6%
		前期	2.1%	9.3%	21.6%	67.1%
(総合)	日本文化	後期	1.6%	6.3%	17.2%	74.9%
		前期	2.2%	6.8%	16.2%	74.8%
(総合)	外国語第一	後期	3.2%	8.5%	21.3%	67.1%
		前期	3.3%	8.7%	23.0%	64.9%
(総合)	外国語第二	後期	2.0%	6.9%	19.0%	72.1%
		前期	1.8%	7.0%	19.7%	71.5%
(総合)	スポーツ	後期	2.0%	7.5%	14.5%	75.9%
		前期	2.4%	10.1%	19.0%	68.6%
(総合)	教職課程	後期	1.9%	6.0%	18.8%	73.3%
		前期	1.1%	6.8%	19.5%	72.6%

Q7この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

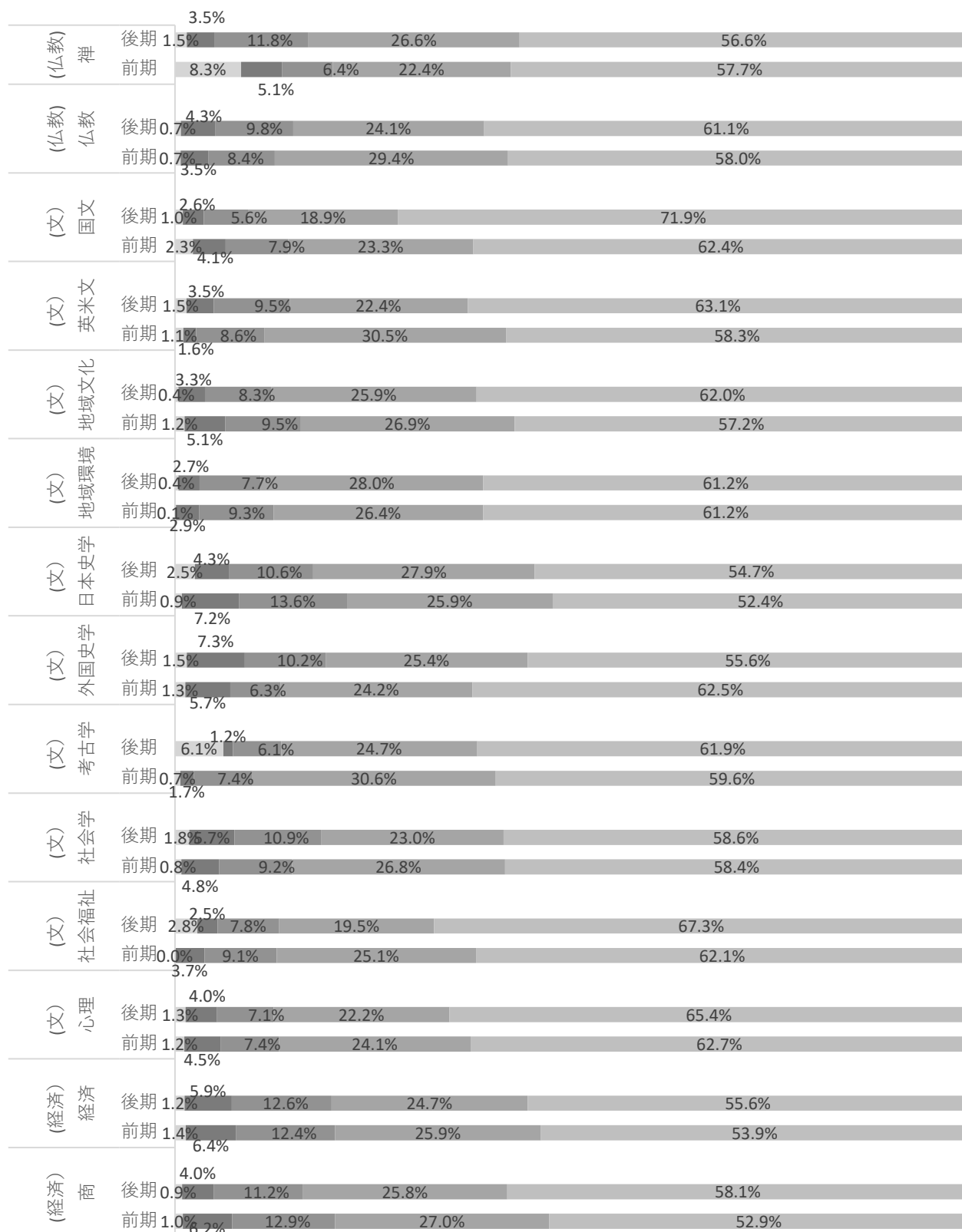
■ そう思わない、ややそう思わない ■ ややそう思う ■ そう思う

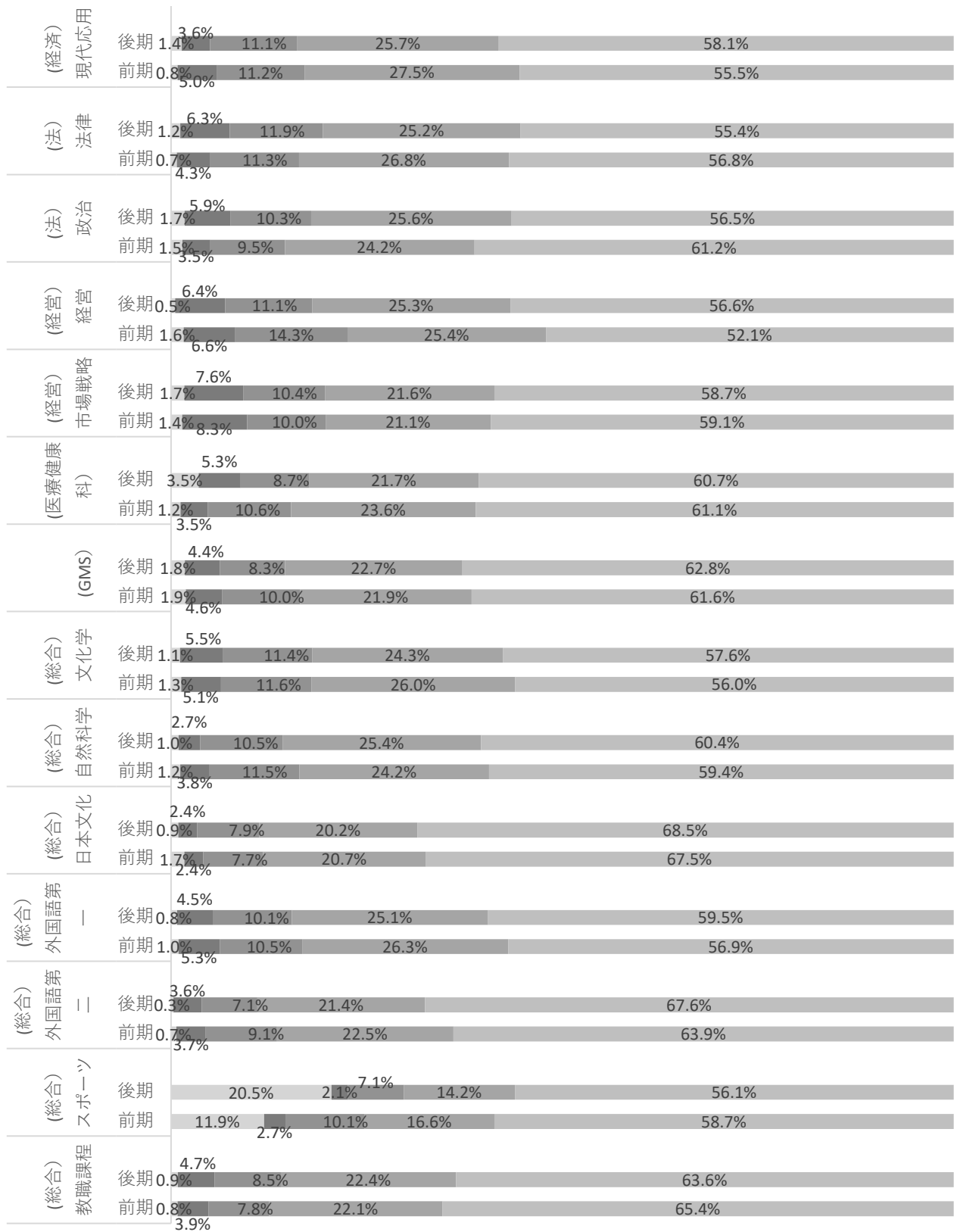


(経済)	現代応用	後期	4.1%	27.1%	58.3%
		前期	4.0%	28.2%	55.5%
(法)	法律	後期	5.4%	26.9%	54.0%
		前期	3.1%	26.5%	57.7%
(法)	政治	後期	4.7%	27.0%	56.8%
		前期	3.1%	26.4%	60.2%
(経営)	経営	後期	5.7%	26.1%	55.4%
		前期	8.6%	25.0%	51.8%
(経営)	市場戦略	後期	6.4%	22.4%	59.8%
		前期	6.8%	22.7%	60.3%
(医療健康)	科	後期	4.2%	23.1%	61.4%
		前期	3.7%	24.8%	58.3%
(GMS)		後期	4.4%	22.2%	64.7%
		前期	4.4%	23.3%	62.0%
(総合)	文化学	後期	4.5%	25.9%	57.2%
		前期	5.2%	27.2%	56.5%
(総合)	自然科学	後期	2.9%	26.1%	60.8%
		前期	4.4%	25.3%	59.0%
(総合)	日本文化	後期	2.8%	19.7%	70.6%
		前期	2.4%	21.2%	68.7%
(総合)	外国語第一	後期	5.4%	24.9%	59.8%
		前期	6.7%	26.1%	56.2%
(総合)	外国語第二	後期	4.7%	23.7%	63.5%
		前期	5.7%	23.7%	59.5%
(総合)	スポーツ	後期	1.7%	16.4%	74.8%
		前期	2.6%	18.1%	70.0%
(総合)	教職課程	後期	3.9%	21.7%	65.4%
		前期	3.6%	22.5%	65.6%

Q8.この授業での教材・資料（配信教材）や板書等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。

- 教科書・配付資料（配信教材）等がない授業 ■ そう思わない、ややそう思わない
- どちらとも言わない ■ ややそう思う
- そう思う





Q9.教員は授業内容に沿った話し方や、授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

■ そう思わない、ややそう思わない ■ どちらとも言わない ■ ややそう思う ■ そう思う

学域	科目	時期	そう思わない、ややそう思わない	どちらとも言わない	ややそう思う	そう思う
(仏教) 禅		後期	4.4%	11.3%	25.2%	59.2%
		前期	1.9%	9.0%	17.9%	71.2%
(仏教) 仏教		後期	3.7%	10.2%	25.5%	60.5%
		前期	4.9%	11.9%	22.4%	60.8%
(文) 国文		後期	1.8%	6.2%	19.6%	72.4%
		前期	6.8%	6.4%	22.2%	64.7%
(文) 英米文		後期	3.8%	9.7%	23.1%	63.3%
		前期	4.8%	13.4%	29.9%	51.9%
(文) 地域文化		後期	2.4%	8.7%	25.9%	63.0%
		前期	5.1%	9.6%	23.8%	61.5%
(文) 地域環境		後期	2.1%	8.9%	25.8%	63.2%
		前期	1.7%	8.2%	27.0%	63.0%
(文) 日本史学		後期	4.1%	11.7%	29.4%	54.8%
		前期	6.9%	14.9%	25.5%	52.7%
(文) 外国史学		後期	4.6%	11.5%	26.5%	57.4%
		前期	2.8%	7.4%	26.4%	63.4%
(文) 考古学		後期	2.1%	6.4%	24.0%	67.5%
		前期	2.7%	6.7%	25.9%	64.6%
(文) 社会学		後期	6.1%	12.5%	23.5%	58.0%
		前期	4.6%	10.3%	26.0%	59.1%
(文) 社会福祉		後期	2.3%	7.0%	21.0%	69.7%
		前期	2.4%	10.3%	24.6%	62.7%
(文) 心理		後期	4.3%	7.7%	22.0%	66.0%
		前期	4.1%	8.1%	23.2%	64.6%
(経済) 経済		後期	6.0%	12.3%	25.6%	56.2%
		前期	5.3%	13.3%	27.1%	54.2%
(経済) 商		後期	3.2%	11.9%	27.8%	57.1%
		前期	5.4%	13.9%	28.1%	52.6%

(経済)	現代応用	後期	3.7%	9.9%	27.1%	59.2%
		前期	3.6%	11.7%	28.2%	56.6%
(法)	法律	後期	5.0%	12.8%	26.0%	56.2%
		前期	3.0%	12.2%	26.9%	57.9%
(法)	政治	後期	4.8%	11.1%	26.4%	57.7%
		前期	2.0%	9.4%	25.8%	62.8%
(経営)	経営	後期	5.7%	12.8%	25.6%	55.8%
		前期	6.8%	14.4%	26.6%	52.1%
(経営)	市場戦略	後期	6.7%	11.0%	22.0%	60.3%
		前期	9.4%	9.4%	21.8%	59.4%
(医療健康 科)		後期	3.0%	10.9%	23.7%	62.4%
		前期	3.2%	10.6%	25.8%	60.3%
(GMS)		後期	3.3%	8.8%	22.3%	65.7%
		前期	4.8%	9.6%	22.0%	63.6%
(総合)	文化学	後期	4.9%	12.7%	25.5%	56.9%
		前期	5.8%	11.9%	26.2%	56.1%
(総合)	自然科学	後期	2.8%	9.8%	26.1%	61.3%
		前期	3.4%	12.5%	25.5%	58.6%
(総合)	日本文化	後期	2.2%	7.0%	20.9%	69.9%
		前期	2.6%	7.9%	20.1%	69.5%
(総合)	外国語第一	後期	5.1%	9.7%	23.4%	61.8%
		前期	5.5%	10.6%	24.7%	59.2%
(総合)	外国語第二	後期	3.0%	7.2%	19.7%	70.0%
		前期	4.2%	8.2%	21.0%	66.6%
(総合)	スポーツ	後期	2.0%	7.1%	15.9%	75.1%
		前期	2.9%	8.2%	18.8%	70.0%
(総合)	教職課程	後期	3.5%	8.4%	22.9%	65.2%
		前期	4.2%	8.0%	20.4%	67.4%



Q10.教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

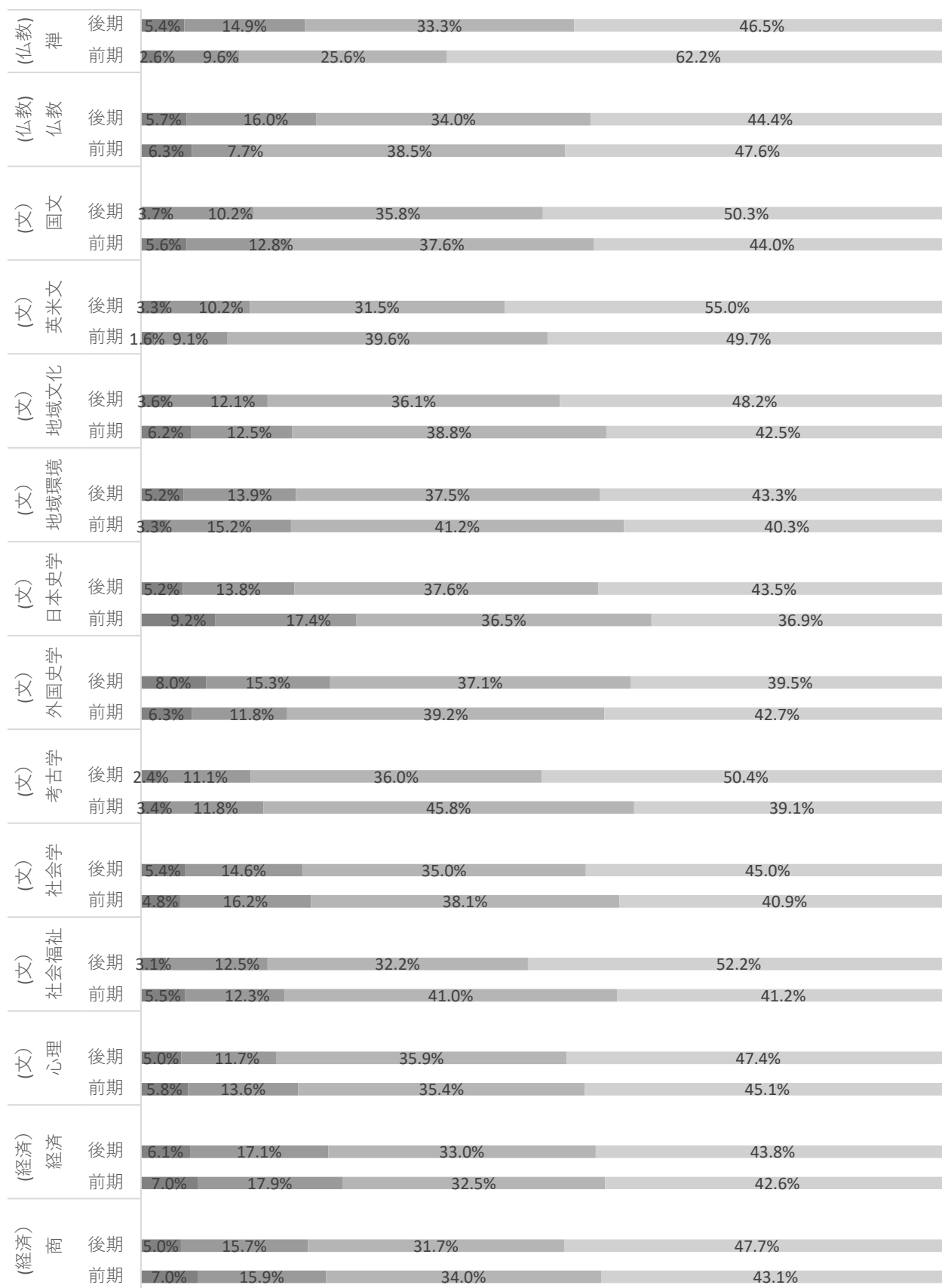
- あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合
- そう思わない、ややそう思わない
- どちらとも言わない
- ややそう思う
- そう思う

学部	学科	後期	前記
(仏教)	禅	17.4% 2.4% 9.2% 20.6% 50.3%	21.2% 1.9% 14.7% 51.3%
		10.9%	
(仏教)	仏教	16.3% 2.3% 9.0% 20.4% 51.9%	18.2% 2.1% 5.6% 21.0% 53.1%
		4.8%	
(文)	国文	21.9% 1.0% 13.6% 58.7%	22.6% 2.3% 16.2% 53.0%
		6.0%	
(文)	英米文	16.9% 2.3% 7.5% 16.8% 56.5%	15.5% 2.1% 23.5% 50.3%
		8.6%	
(文)	地域文化	26.4% 1.3% 6.9% 18.1% 47.2%	28.5% 3.4% 7.9% 14.9% 45.3%
		6.4%	
(文)	地域環境	24.8% 1.4% 18.8% 48.6%	23.3% 1.8% 18.2% 49.8%
		6.9%	
(文)	日本史学	24.4% 2.7% 9.3% 18.5% 45.2%	23.3% 2.8% 11.1% 20.4% 42.5%
		7.4%	
(文)	外国史学	26.4% 2.4% 15.8% 48.1%	20.5% 2.0% 16.1% 53.2%
		8.3%	
(文)	考古学	19.8% 0.9% 14.8% 59.0%	24.9% 1.7% 17.8% 51.2%
		4.4%	
(文)	社会学	20.1% 4.2% 7.4% 17.4% 50.9%	20.2% 3.5% 8.9% 17.9% 49.6%
		0.0%	
(文)	社会福祉	15.9% 1.2% 16.8% 60.1%	16.4% 2.2% 8.3% 19.5% 53.5%
		5.9%	
(文)	心理	21.1% 2.0% 16.1% 55.0%	17.3% 2.5% 7.7% 16.9% 55.6%
		10.2%	
(経済)	経済	21.6% 4.2% 18.4% 45.6%	21.0% 3.4% 10.7% 20.0% 44.9%

(経済)	商	後期	20.5%	3.2%	9.0%	20.8%	46.5%
		前期	21.4%	4.0%	10.2%	21.2%	43.3%
(経済)	現代応用	後期	20.5%	3.2%	9.1%	18.8%	48.4%
		前期	20.1%	3.3%	10.0%	21.0%	45.5%
(法)	法律	後期	29.8%	3.4%	9.7%	16.5%	40.6%
		前期	23.9%	1.6%	10.8%	17.5%	46.2%
(法)	政治	後期	23.5%	3.4%	8.3%	19.3%	45.5%
		前期	22.9%	2.1%	7.9%	18.6%	48.4%
(経営)	経営	後期	21.7%	3.3%	9.6%	19.7%	45.7%
		前期	17.4%	4.2%	12.3%	20.9%	45.2%
(経営)	市場戦略	後期	21.9%	2.9%	8.3%	16.1%	50.7%
		前期	20.2%	4.4%	8.0%	16.0%	51.3%
(医療健康)	科	後期	25.3%	2.1%	6.0%	15.9%	50.8%
		前期	27.0%	1.5%	7.4%	16.7%	47.3%
(GMS)		後期	15.9%	2.6%	6.7%	16.4%	58.3%
		前期	13.9%	2.7%	8.0%	17.5%	58.0%
(総合)	文化学	後期	24.9%	3.0%	9.5%	17.6%	44.9%
		前期	24.2%	2.9%	10.2%	18.0%	44.6%
(総合)	自然科学	後期	24.5%	2.6%	8.3%	17.4%	47.2%
		前期	24.3%	2.7%	9.8%	18.0%	45.2%
(総合)	日本文化	後期	19.0%	1.7%	6.8%	16.2%	56.3%
		前期	15.2%	2.3%	7.0%	18.3%	57.2%
(総合)	外国語第Ⅰ	後期	13.4%	3.6%	8.5%	19.3%	55.3%
		前期	12.6%	3.9%	9.2%	20.6%	53.7%
(総合)	外国語第Ⅱ	後期	13.7%	2.3%	5.7%	15.8%	62.5%
		前期	13.6%	2.2%	6.3%	17.0%	60.9%
(総合)	スポーツ	後期	16.9%	2.0%	6.3%	13.0%	61.9%
		前期	14.4%	1.6%	8.6%	15.5%	59.8%
(総合)	教職課程	後期	24.5%	1.8%	5.7%	14.1%	53.9%
		前期	21.4%	1.2%	6.1%	16.8%	54.6%

Q11.あなたはこの科目の授業内容についてよく理解できていますか。

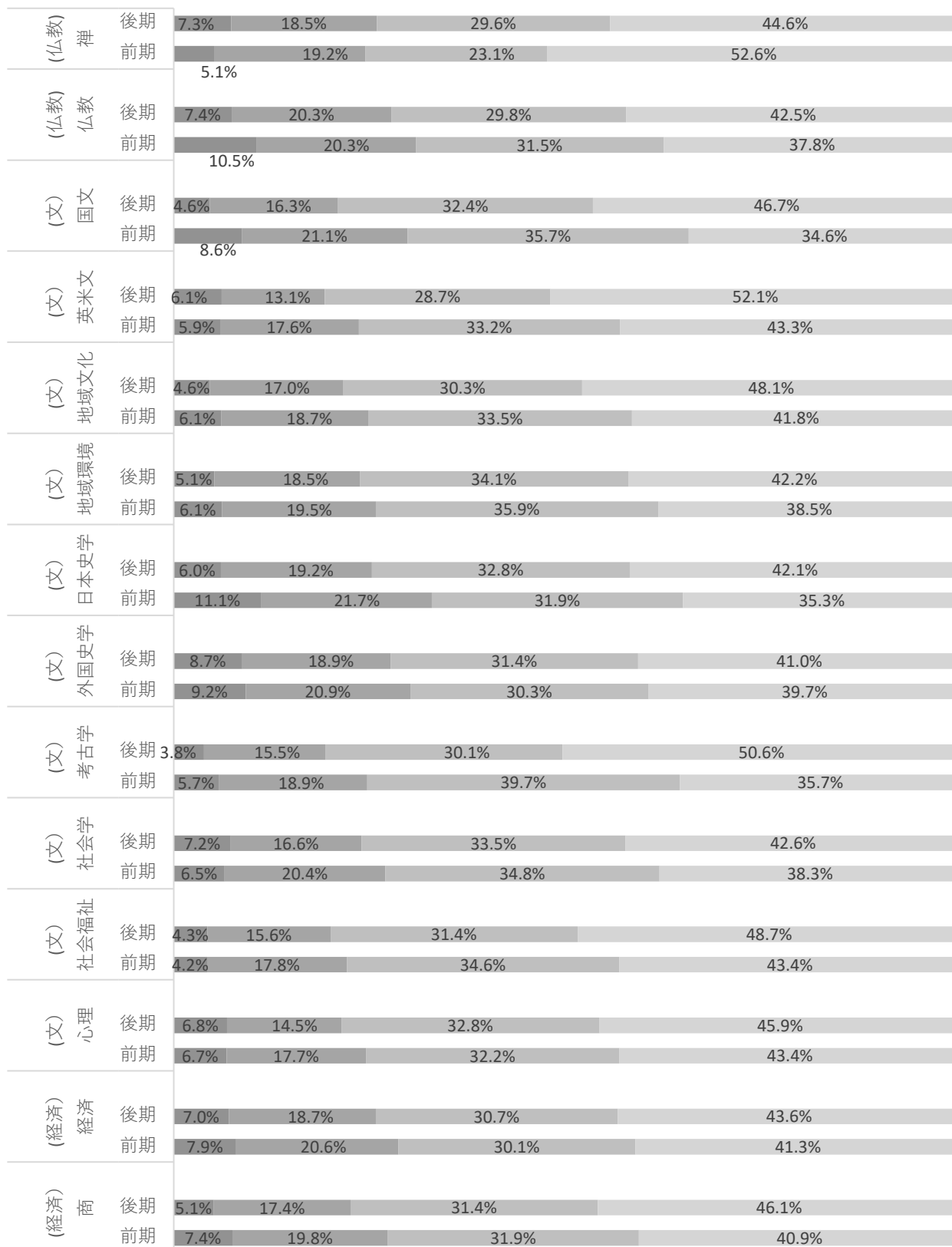
■ そう思わない、ややそう思わない ■ どちらとも言わない ■ ややそう思う ■ そう思う



(経済)	現代応用	後期	5.9%	14.7%	33.1%	46.4%
		前期	7.0%	17.1%	33.2%	42.7%
(法)	法律	後期	7.8%	19.5%	34.4%	38.2%
		前期	6.7%	18.8%	33.9%	40.6%
(法)	政治	後期	6.4%	17.0%	34.5%	42.1%
		前期	5.2%	16.0%	35.2%	43.6%
(経営)	経営	後期	8.0%	15.3%	33.1%	43.6%
		前期	11.1%	17.4%	33.5%	38.0%
(経営)	市場戦略	後期	7.9%	14.4%	33.5%	44.2%
		前期	9.3%	14.2%	31.3%	45.3%
(医療健康)	科	後期	6.1%	15.0%	31.2%	47.7%
		前期	4.5%	18.2%	33.6%	43.7%
(GMS)		後期	5.0%	11.9%	29.6%	53.6%
		前期	5.7%	12.0%	28.6%	53.6%
(総合)	文化学	後期	8.2%	17.6%	33.2%	41.0%
		前期	9.0%	17.4%	34.5%	39.1%
(総合)	自然科学	後期	4.9%	13.4%	34.6%	47.0%
		前期	6.4%	14.8%	35.7%	43.1%
(総合)	日本文化	後期	3.3%	10.5%	31.6%	54.6%
		前期	2.7%	10.3%	31.0%	56.0%
(総合)	外国語第一	後期	4.4%	11.7%	33.1%	50.9%
		前期	5.0%	13.0%	35.0%	47.0%
(総合)	外国語第二	後期	6.0%	11.6%	32.0%	50.3%
		前期	6.6%	14.3%	35.1%	43.9%
(総合)	スポーツ	後期	1.3%	7.5%	21.7%	69.5%
		前期	1.1%	11.0%	26.0%	62.0%
(総合)	教職課程	後期	3.1%	10.4%	32.6%	53.9%
		前期	3.7%	10.1%	30.6%	55.5%

Q12.あなたはこの授業を通じて自主的な学びの姿勢が身に付きましたか。

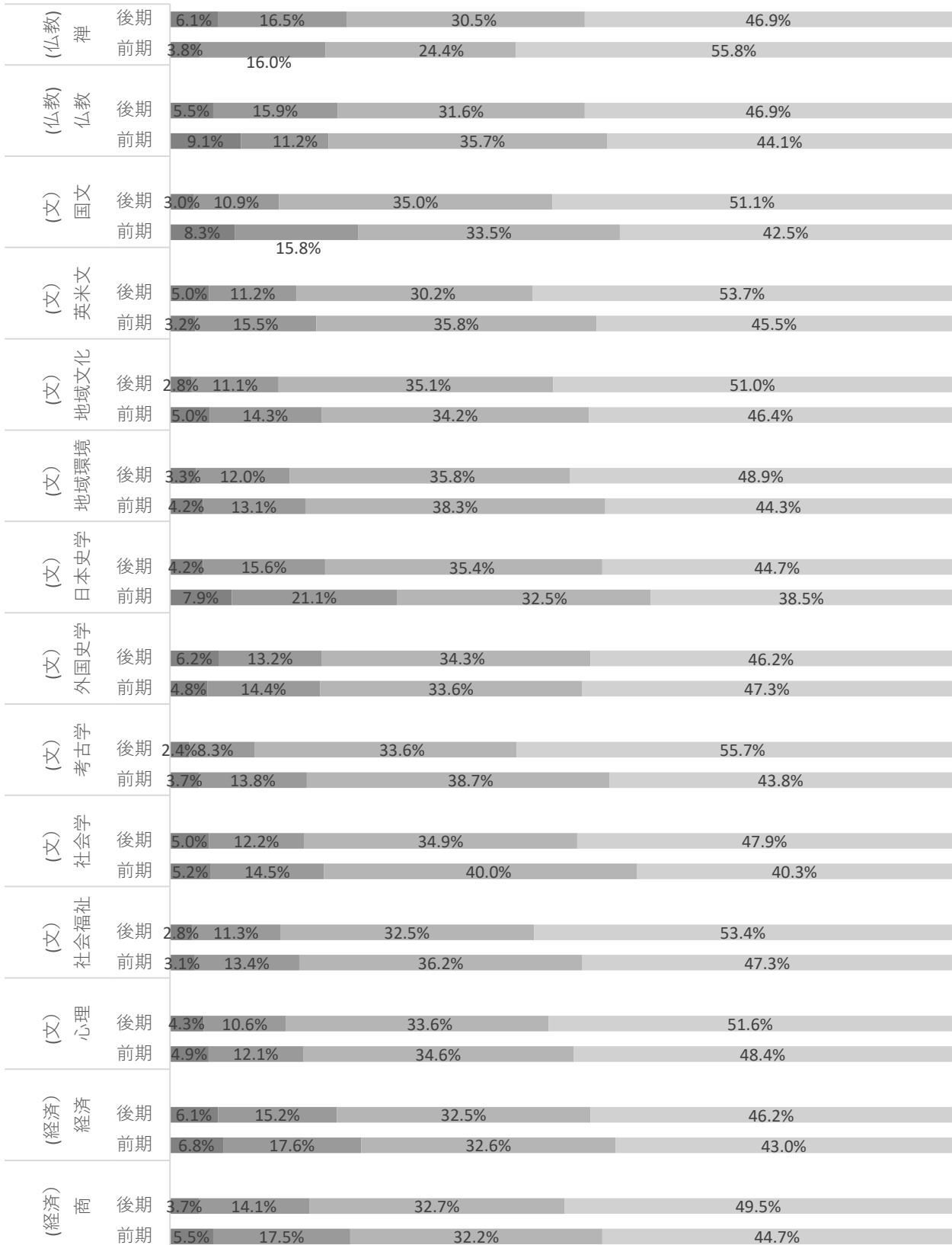
■ そう思わない、ややそう思わない    ■ どちらとも言わない    ■ ややそう思う    ■ そう思う



(経済)	現代応用	後期	5.9%	18.1%	30.2%	45.8%
		前期	6.9%	20.3%	31.7%	41.1%
(法)	法律	後期	8.2%	21.2%	32.6%	38.0%
		前期	7.5%	24.1%	31.6%	36.8%
(法)	政治	後期	7.8%	18.1%	31.3%	42.8%
		前期	7.3%	17.3%	32.4%	43.0%
(経営)	経営	後期	7.5%	18.6%	31.2%	42.7%
		前期	9.8%	20.5%	32.2%	37.5%
(経営)	市場戦略	後期	9.0%	16.8%	30.8%	43.4%
		前期	10.9%	19.2%	28.4%	41.6%
(医療健康 科)		後期	3.8%	15.1%	27.2%	53.9%
		前期	3.8%	17.9%	32.4%	45.9%
(GMS)		後期	6.0%	14.1%	27.4%	52.5%
		前期	6.2%	15.0%	25.8%	52.9%
(総合)	文化学	後期	9.0%	22.7%	29.9%	38.5%
		前期	9.3%	22.1%	31.0%	37.6%
(総合)	自然科学	後期	5.7%	18.2%	31.4%	44.8%
		前期	6.3%	20.7%	31.3%	41.7%
(総合)	日本文化	後期	5.3%	15.1%	28.2%	51.4%
		前期	5.7%	15.7%	29.5%	49.1%
(総合)	外国語第 一	後期	6.9%	16.1%	31.0%	46.1%
		前期	7.3%	18.2%	32.7%	41.8%
(総合)	外国語第 二	後期	5.5%	13.8%	29.4%	51.4%
		前期	5.6%	16.4%	32.4%	45.6%
(総合)	スポーツ	後期	3.1%	14.4%	20.4%	62.2%
		前期	3.8%	20.3%	23.6%	52.3%
(総合)	教職課程	後期	6.6%	15.5%	28.1%	49.8%
		前期	5.8%	14.0%	28.1%	52.1%

Q13.あなたはこの授業によって力がついたと思いますか。

■ そう思わない、ややそう思わない ■ どちらとも言わない ■ ややそう思う ■ そう思う



(経済)	現代応用	後期	4.8%	15.4%	32.1%	47.7%
		前期	5.4%	17.6%	34.0%	43.1%
(法)	法律	後期	7.0%	18.1%	34.4%	40.5%
		前期	5.8%	18.6%	34.6%	41.0%
(法)	政治	後期	5.8%	14.9%	34.2%	45.0%
		前期	4.8%	15.1%	33.6%	46.4%
(経営)	経営	後期	6.0%	16.3%	32.9%	44.9%
		前期	8.4%	16.8%	34.4%	40.4%
(経営)	市場戦略	後期	6.8%	13.2%	31.1%	48.9%
		前期	8.8%	14.1%	30.3%	46.8%
(医療健康)	科	後期	4.2%	12.9%	28.8%	54.1%
		前期	2.8%	15.5%	31.2%	50.6%
(GMS)		後期	4.5%	11.6%	29.4%	54.5%
		前期	4.7%	13.0%	27.6%	54.6%
(総合)	文化学	後期	7.9%	18.2%	32.7%	41.2%
		前期	7.9%	19.1%	32.7%	40.3%
(総合)	自然科学	後期	3.6%	14.8%	34.5%	47.1%
		前期	4.7%	16.2%	34.0%	45.2%
(総合)	日本文化	後期	4.1%	11.9%	28.2%	55.8%
		前期	4.2%	11.7%	30.0%	54.0%
(総合)	外国語第一	後期	5.8%	14.1%	32.6%	47.5%
		前期	6.6%	15.9%	35.2%	42.3%
(総合)	外国語第二	後期	4.4%	9.2%	29.5%	56.9%
		前期	4.5%	11.1%	33.2%	51.2%
(総合)	スポーツ	後期	2.9%	10.2%	21.1%	65.8%
		前期	4.0%	13.5%	25.0%	57.4%
(総合)	教職課程	後期	4.2%	11.6%	31.3%	52.9%
		前期	4.2%	10.4%	31.1%	54.3%



## 6. FD NEWSLETTERの発行

『FD NEWSLETTER』は第69号から第72号までの4号を発行した。

○FD NEWSLETTER 第69号	令和4年 7月 5日発行
○FD NEWSLETTER 第70号	令和4年 9月30日発行
○FD NEWSLETTER 第71号	令和4年 12月20日発行
○FD NEWSLETTER 第72号	令和5年 3月15日発行

ペーパーレス化や直接配信できるメリットを踏まえ、『FD NEWSLETTER』をPDFデータによる配信方式としている。

下記QRコード、URL（本学ホームページ）より、創刊号から閲覧可能となっている。



駒澤大学ホームページ内 FD NEWSLETTERページ  
<https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/fd-action/fd-newsletter/>

## 総 評

駒澤大学 FD 推進委員会小委員会  
令和4年度委員長 中野香織  
(経営学部教授)

### 1. 令和4年度のFD活動計画

令和3年度のFD活動の課題をもとにFD推進委員会からの依頼及び付託を受け、令和4年度の活動計画を以下のように設定した。『本学におけるFDの概要』に基づいたFD活動の推進(重点検討課題)、「オンライン授業の課題及び効果などの検証」(重点検討課題)、「FD活動に関する情報発信の工夫」(重点検討課題)、「授業運営の負担軽減方法の検討」、「既存のFD活動の実施・検証・改善」である。

### 2. 重点検討課題への対応

#### (1) 「本学におけるFDの概要」に基づいたFD活動の推進

「本学におけるFDの概要」の目指す姿(令和2年度第2回FD推進委員会にて了承)である、「自主的な学習態度を身に付けた学生(卒業生)の増加」につながるFD活動を推進した。具体的には、ピア・サポートによる学修支援(学生による学生に対する学修支援)と授業支援体制の拡充の提案である。SAの適用拡大およびラーニング・サポーター常設といった体制整備を行う。授業時間内はSAによって、授業時間外はラーニング・サポーターによって、学生の学修を支援する仕組みである。こうした環境整備により、学生の授業への積極的な取り組みや、授業時間外の学修時間の増加が期待できる。さらには、SAやラーニング・サポーターといった支援する側の学生のモチベーション向上や誇りの醸成も期待できる。

#### (2) オンライン授業の課題及び効果などの検証

昨年度はオンライン授業の実践事例の共有を行ってきたため、今年度はオンライン授業の効果検証と課題の検討を行った。効果検証については、経済学部の北條雅一委員が対面授業とオンライン授業が併用されていた時期の学生授業アンケート(2021年度後期)を用いて、オンライン授業と対面授業の比較を行った。分析の結果、オンライン授業と対面授業との間には、授業の進み方の適切さ、自主的な学びの姿勢、力がついた実感、授業時間・回数の確保、の項目で負のジャンプがみられるという、興味深い結果が得られた。加えて、オンライン授業の自由記述(授業の良かった点について)を対象に、テキストマイニングを行っている。分析結果は、『FD NEWSLETTER』第72号に掲載予定である。

オンライン授業における課題の検討と事例共有については、オンライン授業に関連したテーマでFD研修会を実施した。第1回(7月29日実施)は「オンライン授業の負担と効率化」のテーマで、4名の先生に登壇頂いた。講師は久保尚也准教授(文学部)、芝崎厚士教授(GMS

学部)、中村一成准教授(経営学部)、矢野浩一教授(経済学部)である。各先生から、オンライン授業で感じる負担や課題、効率化の工夫について事例が共有され、議論された。議論や研修会後のアンケートから、オンライン授業における課題を集約すると、教員個人の試行錯誤に頼る現状、ハイブリッド授業における問題、学生対応の増加、大学による支援の仕組みづくり、にまとめることができる。

第2回FD研修会のテーマ(10月6日実施)は「オンライン授業を巡るコロナ禍からポストコロナ禍時代への接合点を探して」である。昨年好評だった杉森公一教授(北陸大学高等教育推進センターセンター長)に、再度登壇して頂いた。第1回のFD研修会で浮かび上がった課題を提示したうえで、杉森先生からハイフレックス型講義の授業設計に関する考え方や事例が紹介された。具体的には、教学環境の充実、TAやSAによるサポート、チーム作りの重要性が提示された。その後、北條委員によるオンライン授業の分析結果が共有され、再度議論がなされた。

第4回FD研修会のテーマ(2月17日実施)は「令和4年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞(以下、BTAと表記)」受賞者による実践事例紹介である。ハイブリッド授業も含めた好事例の共有がなされた。

そのほか、第3回FD研修会(10月28日、11月2日の2回実施)では、次期授業支援システムWebClassの操作説明会(総合情報センターとの共催)を行った。WebClassの概要と具体的な操作方法について、実際の画面を用いて説明された。

### (3) FD活動に関する情報発信の工夫

FD活動を学内で周知し、教員の理解を図るため、情報発信の工夫を行った。一点目は、『FD NEWSLETTER』のデザイン変更である。『FD NEWSLETTER』を手に取りやすく、さらに読みやすくするため、第69号からデザインを変更した。PDFで配信し、KomaShelfに格納している。なお、最新の第71号はKomaShelfにおいて、入試関連情報に次ぐアクセス数の多さとなっている(2022年1月時点)。

二点目は、FD関連情報を教員向け授業情報サイトに集約したことである。FD研修会のアーカイブ、『FD NEWSLETTER』へのリンク、学生による授業アンケートや公開授業、学生が選ぶベスト・ティーチング賞、FD年間日程などの情報がまとまっている。教員がFD活動に関する情報を探す際、すぐに辿り着けるようになっている。

・ KomaShelf

<https://komazawa-u.backshelf.jp/?folseq=751>

・ 教員向け授業情報サイト「FDのご紹介」

<https://sites.google.com/komazawa-u.ac.jp/online->

[info/fd%E6%B4%BB%E5%8B%95%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6](https://sites.google.com/komazawa-u.ac.jp/online-info/fd%E6%B4%BB%E5%8B%95%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6)

#### (4) 授業運営の負担軽減方法の検討

昨年度のFD活動に関するアンケートから、教員の授業負担が大きいという課題が明らかになっている。そのため、今年度のFD活動において授業運営の負担軽減を検討し、以下の三点に取り組んできた。

一点目に、ピア・サポートによる学修支援と授業支援体制の拡充の提案である。前述のとおり、支援する学生の存在（SAとラーニング・サポーター）によって、教員の授業運営上の負担軽減が期待できる。第2回FD研修会においても、TAやSAによるサポートの重要性が杉森先生より指摘されていた。加えて授業支援体制の一つとして、教員の授業を支援するサポートスタッフの配置の提案も行った。

二点目に、FD研修会のテーマ設定である。前述のとおり、第1回FD研修会と第2回FD研修会では、オンライン授業における負担と効率化に関するテーマを設定した。実践事例の共有および議論がなされたことにより、授業負担軽減の示唆が得られた。

三点目に、授業実践方法を共有するための取り組みである。これまでも、FD研修会や公開授業、FD NEWSLETTERなどで授業の実践事例や課題は共有されてきたものの、それらの情報が同じ場所に蓄積されているわけではなく、探したいときに見つけることが難しい状況であった。そこで授業実践方法を共有する場を設定し、検索もできるようにした。

一つ目は、共有サイト「駒大FDpedia」の開設である。効率的なLMSの使い方、アクティブラーニングの工夫、活用しやすいツールなどの情報を共有するためのサイトである。カテゴリ別に分類されているため見つけやすく、検索も可能である。

二つ目は、教育業績管理システム「教育業績」欄の活用である。教育業績欄に、実践事例や教育方法の工夫などを記入することで、事例を共有することができる。

上記はいずれも任意の入力であるが、今後の積極的な活用が望まれる。

### 3. FD活動の実施・検証・改善

昨年度に引き続き、PDCAサイクルを実施するため、専任教員を対象にFD活動に関するアンケートを行った。実施期間は1月30日から2月13日であり、131件の回答（回答率39.8%、2021年度は43.6%）が得られた。以下では、その結果も交えて活動報告を行う。

#### (1) 学生による授業アンケート

前期は7月2日から7月15日に実施され、回答率は60.5%（1,580科目対象、2021年度58.7%）、後期は12月9日から12月22日に行われ、回答率は49.6%（2,277科目対象、2021年度52.6%）であった。回答率は昨年と比べてほぼ同じであり（前期は約2ポイント増、後期は3ポイント減）、コロナ禍以前より高い回答率が維持されている。

昨年度はオンライン授業と対面授業の両方が行われていたが、今年度は原則対面授業に変更された。前期の回答結果を比較すると、授業外学習の時間が減少していた。オンライン授業では課題が多くなるため、その結果が反映されていると考えられる。

FD活動アンケートから、「学生による授業アンケート」の結果を授業改善に役立てられたと回答した教員は75.3%であった。「大いに役立てられた」が26.4%（昨年度より3.2ポイント減）、「少し役立てられた」が48.9%（昨年度より5.9ポイント増）であった。具体的には、授業の進め方、資料作成、オンライン授業やハイブリッド授業運営における改良点、学生視点の理解、などの声があった。一方、教員の意欲喪失の方が大きい、学生は匿名で勝手なことを言うため気持ち良くはない、といった課題も見受けられる。

授業アンケートの実施時期についても質問したところ、半期では13回～15回（最終週）（通年では28回～30回）頃が37.4%、11回～13回（通年では26回～28回）頃が31.3%の順に多かった。FD推進小委員会では実施時期の議論がなく、時期が決められていたため、来年度以降は教員の意向もふまえた議論ができると良いだろう。

## （2）FD研修会

今年度も4回のFD研修会を実施した。出席者は第1回が77名（7月）、第2回が61名（10月）、第3回FD研修会には合計118名（10月、11月）、第4回は108名（2月）が参加した。各FD研修会のテーマと内容は前述のとおりである。FD研修会参加者のアンケートによれば、どの研修会も満足度は高かった。自由回答でも、授業運営の具体的な参考になる、多くの示唆が得られたなどの声が多数寄せられ、総じて教員に役立つ内容だったと言える。

FD活動アンケートからは、参加したいFD研修会の内容は「授業で使用する機材の活用方法」が46.6%、「学外の専門家による講演」が36.6%、「アクティブ・ラーニングのテーマ」が35.9%、「オンライン授業における授業運営方法」が35.1%、「学内の教員による講演」が27.5%であった。今年度はこうしたニーズにある程度応えたFD研修会が実施できたと思われる。内容に関する自由回答では、学内教員との議論や情報交換、学生参加型、同じ専門分野での授業例、LMSやPCツールの初心者向け講習、問題を抱える学生対応、新入生セミナー、ルーブリック、グループワークなど、多岐にわたる要望があった。

なお、FD研修会に参加しやすい方法は、同時配信が51.9%（2021年度54.2%）、オンデマンド配信が51.1%（2021年度54.9%）の順に多い。自由度の高い参加方法だと教員も参加しやすいため、対面参加だったコロナ禍前よりも参加率が高くなっているのだろう。

## （3）公開授業

11月7日から11月30日にかけて、13科目の公開授業が行われた。公開授業ごとに実施結果報告がまとめられており、授業運営の参考になる内容が多い。ただし、参加人数が少ないことが課題である。そのため、より活用しやすい実施結果報告の形式ができると良いだろう。

## （4）学生FDスタッフ

学生FDスタッフは10名で構成され、毎週木曜日にFD推進委員の担当教員4名と事務局とで定例ミーティングを行った。今年度は企画ごとに3グループに分かれて活動に取り組ん

でいる。グループは、①学生が選ぶベスト・ティーチング賞（BTA）に加え、新規企画である②学生目線のシラバス読み方ガイド、および③学生目線の学内利用マップ、の3つである。新規企画は学生FDスタッフならでの視点であり、学生にとって有用な内容である。新入生へ配布できるよう3月の完成を予定している。2月には学長との意見交換会が行われ、学生FDスタッフから学生視点の授業運営など多くの意見があり、充実した議論となった。

学生FDスタッフは、年間を通じて充実した活動を行っている。具体的な内容は、FD活動の広報活動（学生による授業アンケートのチラシ作成、BTAのチラシ作成）、BTAの企画と運営（新企画立案、受賞教員へのインタビュー、パンフレット作成、トロフィーデザイン考案、学長との意見交換会など）、新規企画の立案と実施（シラバス読み方ガイド、学内利用マップ）、学生FDスタッフ活動の啓蒙とメンバー募集（サークルフェスティバル参加）、である。

#### （5）学生が選ぶベスト・ティーチング賞（BTA）

学生が選ぶベスト・ティーチング賞（BTA）は、11月12日～12月2日に実施した（有効票2,720票）。専門教育科目から3名、全学共通科目から3名を選出した。今年度の主な変更点は2点ある。一点はアンケートの実施形態変更であり、学生の入力負担と無効票の減少が目的である。もう一点はプラスワン賞の選出基準の変更であり、履修学生が少ない授業が多い学部であっても選出できるようにした。いずれも昨年の実施状況から改善した点である。

教員を対象としたFD活動アンケートによれば、BTAを多少なりとも授業改善に役立てられたと回答した教員は39.7%（2021年度41.5%）であり、昨年より2ポイント減少している（39.7%のうち、「大いに役立てられた」は9.9%（2021年度8.5%）、「少し役立てられた」は29.8%（2021年度33.1%））。

BTA受賞者の講演により大・中・小人数それぞれの授業規模に応じた多彩な工夫と労力が伺え、学生の投票もそうした点を評価している。一方で、BTAについて教員側からは、人数規模や単位の取りやすさ、学生の人気によって票数を得やすくなるといった誤解も依然みられた。BTAは「学生が選ぶ」とあるとおり、FD学生スタッフが運営し、学生が選ぶ賞である。BTA受賞教員によるFD研修会も示唆に富む内容であり、学生の視点を知ることができる貴重な機会である。そのため、BTAがより教員に役立てられるような取り組みの工夫や、教員に対するBTAの理解促進の必要性を改めて感じている。

#### （6）『FD NEWSLETTER』

今年度の『FD NEWSLETTER』は4回発行された。第69号は7月に、第70号は9月に、第71号は12月に発行され、第72号は3月に発行予定である。前述のとおり、今年度はデザインを刷新して読みやすくなり、KomaShelfにも格納している。内容はFD研修会の報告、学生授業アンケート（前期・後期）の結果と分析、よりよい教育のための工夫や事例、公開授業参加報告などである。

FD活動アンケートの結果をみると、「必ず読む」は25.2%、「しばしば読む」は38.9%であり、6割以上の教員はある程度読んでいる。デザイン刷新前と比べて、必ず読む教員は10ポイント減少したものの、しばしば読む教員は15ポイント増加し、浸透が広がったといえる。

#### (7) その他

令和3年度の卒業時アンケートを用いて、学生の教育満足度に関係する要因を明らかにするための分析を事務局にて行った。その結果、教育満足度は教員指導満足度や成長実感と関係があり、ゼミの履修有無も関係することがわかった。一方で、GPAと教育満足度とは相関がないという、興味深い結果であった。

### 4. 今年度のまとめ

今年度の授業は原則対面形式となったものの、新型コロナウイルスに罹患した学生や濃厚接触者の学生への対応が必要であった。そのため、オンライン授業やハイブリッド授業を取り入れるなど、教員は相変わらず授業運営に試行錯誤した年であった。こうした状況下における教員の支援につなげるため、今年度のFD活動ではオンライン授業の課題及び効果の検証、授業運営の負担軽減方法の検討も行ってきた。

今年度のFD活動の活動計画と実施内容を簡単にまとめたい。重点検討課題である、本学におけるFDの概要に基づいて「自主的な学習態度を身に付けた学生（卒業生）の増加」を目指す活動では、ピア・サポートによる学修支援（学生による学生に対する学修支援）としてSAやラーニング・サポーターの制度拡充を提案し、了承された。制度が整備されれば、積極的に学習に取り組む学生の増加が予想される。2024年度から実現されることを期待したい。

「オンライン授業の課題及び効果の検証」については、多くの活動を行うことができた。オンライン授業の効果検証では、学生授業アンケートを用いた対面授業とオンライン授業の分析によって、オンライン授業の課題を明示することができた。昨年、授業アンケートの実施・取扱要領を制定したことで、このような分析を行うことが可能となった。充実した分析により、興味深い結果が得られている。

FD研修会でも、オンライン授業の課題検討と事例共有を行った。事例共有にとどまらず、オンライン授業において教員が抱える課題の議論（学内教員の講演）や、それを解決する方向性の提示（外部講師の講演）の両方ができたことは有益であった。

「FD活動に関する情報発信の工夫」については、『FD NEWSLETTER』のデザイン変更と、FD関連情報の教員向け授業情報サイトへの集約を行った。授業運営で苦勞する教員にとって有益な情報を、少しでもわかりやすく伝える環境を整備することができた。

「授業運営の負担軽減方法の検討」では、教員の負担軽減という視点から、教員をサポートするために3つの活動を進めてきた。1点目はピア・サポートによる学修支援と授業支援体制の拡充提案である。SAとラーニング・ラポーターという学生の存在により、教員の授業運営上の負担軽減が可能になるだろう。2点目はFD研修会の実施である。授業運営の負担軽減

の議論を行い、多くの知見が得られた。3点目は授業実践方法を共有するための場の設定である。教員の知（実践事例やツールなど）を相互に共有することで、授業運営における悩みの解消や効率化につながることを期待したい。

既存のFD活動の実施・検証・改善については、昨年度に引き続きFD活動に関するアンケートを実施した。教員が抱える課題や期待を把握できるため、来年度の活動につなげてもらいたい。その他、卒業時アンケートの分析を行った。教育満足度と関連する要因が明らかになり、初年次教育の重要性という示唆を得ることができた。

来年度に向けた課題は、主に4点挙げられる。1点目はSAやTAの育成・活用方法の検討である。今年度、SAを含む学修支援体制の提案が了承された。FD活動アンケートではSAやTAの活用に期待する声が複数挙がっており、外部講師の杉森先生からもSAやTA育成の重要性が指摘されていた。来年度はSAやTAを活用するための支援として、FD研修会で外部講師によるFD研修会やワークショップなどが考えられだろう。

2点目は、オンライン授業（ハイブリッド授業を含む）の効果的な活用方法の検討である。来年度の授業は、基本的にコロナ禍以前に戻す方針が提示されている。ただし、大学においてオンライン授業（ハイブリッド授業も含めて）が全面的になくなるわけではない。一部は全て対面授業、一部はハイブリッド授業、一部はオンライン授業といったように、手段や形式を変えつつ共存していこう。そのため、来年度の環境に合わせたオンライン授業の効果的な活用方法の検討が必要であろう。例えば、新しくWebClassが導入されるため、その活用方法や実践事例の共有なども考えられる。

3点目は、授業アンケートの実施時期の検討である。この2年間、FD推進小委員会およびFD推進委員会にて、実施時期が議論されたことはなかった。教員にとって、授業アンケートが活用しやすいよう、実施時期もFD推進小委員会において議論して決められると良いだろう。FD活用アンケートでも、実施時期に関する要望を聞いている。

4点目は、BTAのさらなる投票率向上、および教員の理解促進の検討である。BTAは学生の投票率がまだ高いとはいえないため、より投票率を高められる。さらに、BTAの導入後は、継続的に仕組みの改善を図ってきたものの、教員にはそうした内容が十分に理解されていない可能性がある。今後いっそう、教員の理解促進の方法を検討できると良いだろう。

以上



## 【付録資料】

- 駒澤大学FD推進委員会規程
- 駒澤大学FD憲章
- 令和4年度 駒澤大学FD推進委員会委員名簿
- 令和4年度 駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿

## ○駒澤大学FD推進委員会規程

〔平成16年4月1日  
制 定〕

改正 平成21年4月1日

改正 平成25年4月1日

改正 平成27年4月1日

(趣旨及び設置)

第1条 駒澤大学学則第1条の3第2項に定める組織的な研修及び研究について、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進するため、駒澤大学FD推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(FDの定義)

第2条 この規程において「FD」とは、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるために行う、各学部等の組織的な取り組みをいう。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業評価の実施に係る企画・運営に関すること。
- (2) 教員の教授方法等の改善のための支援に関すること。
- (3) 各学部等が行うFDの支援に関すること。
- (4) FDに係る、施設・設備等の改善に関すること。
- (5) 講演会及び研修会等に関すること。
- (6) その他FDの推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各副学長
- (3) 各学部長等
- (4) 各学部等から選出された者各1人。ただし、総合教育研究部は3人 計10人
- (5) 教務部長
- (6) 幹事 若干人

2 委員会の委員長は学長とし、副委員長は教育・研究担当の副学長とする。

3 第1項第4号によって選出された委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 欠員を補充するために選出された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 委員会は、委員長がこれを召集し、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

4 FD推進委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決議し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(小委員会)

第6条 委員会が必要と認めるときは、委員会に小委員会を設置することができる。

2 審議事項、構成、運営等については、委員会で制定する内規に定める。

(FD推進部会)

第7条 各学部等にFD推進部会を設置する。

2 部会長は各学部長等とし、構成員については各学部等が決める。

(事務所管)

第8条 委員会の事務所管は、教務部とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

平成 28 年 4 月 1 日  
制 定

## 駒澤大学 F D 憲章

駒澤大学は、学校法人駒澤大学憲章の理念に基づき、本学の Faculty Development (F D) を推進するために、この駒澤大学 F D 憲章を定める。

- 一、 私たちは、常に新しい教育方法を模索し、教育活動の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に自らの教育方法をふりかえることで、教育活動の改善に努めます。
- 一、 私たちは、常に教員相互の情報交換をすることで、大学全体の教育の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に学生、または社会からの声を大切にし、教育活動の改善に努めます。
- 一、 私たちは、知を人類の資産として未来へ継承し発展させるよう、学生とともに歩むことを誓います。

平成 28 年 4 月 1 日 施行

令和4年度駒澤大学FD推進委員会委員名簿

委員長	学 長	各 務 洋 子
副委員長	教育・研究担当の副学長	吉 田 尚 史
委 員	学生支援担当の副学長	竹 田 幸 夫
〃	仏 教 学 部 長	奥 野 光 賢
〃	文 学 部 長	中 野 達 哉
〃	経 済 学 部 長	森 田 佳 宏
〃	法 学 部 長	熊 谷 芝 青
〃	経 営 学 部 長	中 村 公 一
〃	医療健康科学部長	吉 川 宏 起
〃	グローバル・メディア・スタディーズ学部長	山 口 浩
〃	総合教育研究部長	遠 藤 司
〃	仏 教 学 部 准 教 授	加 納 和 雄
〃	文 学 部 講 師	久 保 尚 也
〃	経 済 学 部 教 授	北 條 雅 一
〃	法 学 部 准 教 授	田 中 優 企
〃	経 営 学 部 教 授	中 野 香 織
〃	医療健康科学部講師	中 島 祐 二 朗
〃	グローバル・メディア・スタディーズ学部講師	星 野 真
〃	総合教育研究部准教授	別 所 裕 介
〃	総合教育研究部教授	西 村 祐 子
〃	総合教育研究部准教授	瀧 本 誠
〃	教 務 部 長	絹 川 真 哉
		(以上 委員 22名)
幹 事	教 務 部 学 務 課 長	新 粂 秀 一
〃	教 務 部 教 務 課 長	芳 垣 恵 美 子
		(以上 幹事 2人)
書 記	教 務 部 係 長	菊 原 武 史
〃	教 務 部	牧 知 里
〃	教 務 部	近 藤 慧
〃	教 務 部	久 保 田 成 歩
		(以上 合計 28人)

令和4年度駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿

令和4年4月1日現在

委 員	仏 教 学 部 准 教 授	加 納 和 雄
〃	文 学 部 講 師	久 保 尚 也
〃	経 済 学 部 教 授	北 條 雅 一
〃	法 学 部 准 教 授	田 中 優 企
〃	経 営 学 部 教 授	中 野 香 織
〃	医 療 健 康 科 学 部 講 師	中 島 祐 二 朗
〃	グロ ー バ ル ・ メ デ ィ ア ・ ス タ デ ィ ー ズ 学 部 講 師	星 野 真
〃	総 合 教 育 研 究 部 准 教 授	別 所 裕 介
〃	総 合 教 育 研 究 部 教 授	西 村 祐 子
〃	総 合 教 育 研 究 部 准 教 授	瀧 本 誠
〃	教 務 部 長	絹 川 真 哉
		(以上 委員 11名)
幹 事	教 務 部 学 務 課 長	新 粂 秀 一
〃	教 務 部 教 務 課 長	芳 垣 恵 美 子
		(以上 幹事 2人)
書 記	教 務 部 係 長	菊 原 武 史
〃	教 務 部	牧 知 里
〃	教 務 部	近 藤 慧
〃	教 務 部	久 保 田 成 歩
		(以上 合計 17人)

令和4年度  
FD活動報告書

---

発行日	令和5年3月31日
発行	駒澤大学FD推進委員会 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1丁目23番1号 TEL 03-3418-9444 FAX 03-3418-9114
事務局	駒澤大学教務部



しなやかな、意思。

駒澤大學